授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	**一般教養Ⅰ**
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み･送り仮名① 2 訓読み･送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓･同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②･類義語 9 反対語 10 漢字の意味･使い方① 11 漢字の意味･使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	**一般教養Ⅱ**
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 **応用漢字の訓読み･送り仮名①** 2 **応用漢字の訓読み･送り仮名②** 3 **応用漢字の熟語①** 4 **応用漢字の熟語②** 5 **応用漢字の熟語③** 6 **応用漢字の異字同訓･同音異義** 7 **応用漢字の誤字訂正①** 8 **応用漢字の誤字訂正②･類義語** 9 **応用漢字の反対語** 10 **応用漢字の意味･使い方①** 11 **応用漢字の意味･使い方②** 12 **応用漢字項目別模擬試験①** 13 **応用漢字項目別模擬試験②** 14 **応用漢字直前模擬試験①** 15 **応用漢字直前模擬試験②**
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用電卓演習① 2 応用電卓演習② 3 応用電卓演習③ 4 応用電卓演習④ 5 応用電卓演習⑤ 6 応用電卓演習⑥ 7 応用電卓演習⑦ 8 応用電卓演習⑧ 9 応用電卓演習⑨ 10 応用電卓演習⑩ 11 応用電卓演習⑪ 12 応用電卓演習⑫ 13 応用電卓演習⑬ 14 応用電卓演習⑭ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（２単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRとは
	2	自己分析の方法・注意点
	3～5	自己分析作業
	6	自己PRの作り方
	7～11	自己PRの作成作業
	12～13	自己PR修正作業
	14～15	自己PR発表
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 会計事務所・企業研究① 11 会計事務所・企業研究① 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2～3 業界研究 4～5 企業研究 6～9 志望動機の作り方 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13～15 内定後学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記入門Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的（基礎編） 2 簿記一巡Ⅰ（基礎編） 3 簿記一巡Ⅱ（基礎編） 4 商品売買（基礎編） 5 決算整理Ⅰ（基礎編） 6 精算表（基礎編） 7 現金および預金（基礎編） 8 手形（基礎編） 9 決算整理Ⅱ（基礎編） 10 その他の債権および債務（基礎編） 11 有形固定資産（基礎編） 12 決算整理Ⅲ（基礎編） 13 決算整理Ⅳ（基礎編） 14 株式会社の純資産（基礎編） 15 英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論（基礎編） 2 収益と費用（基礎編） 3 棚卸資産（基礎編） 4 現金預金（基礎編） 5 債権・債務等（基礎編） 6 有価証券①（基礎編） 7 有価証券②（基礎編） 8 固定資産①（基礎編） 9 固定資産②（基礎編） 10 固定資産③（基礎編） 11 固定資産④（基礎編） 12 為替換算会計①（基礎編） 13 為替換算会計②（基礎編） 14 引当金（基礎編） 15 法人税等①（基礎編） 16 法人税等②（基礎編） 17 株式会社の純資産（基礎編） 18 企業結合（基礎編） 19 確認テスト（第1回） 20 株主資本等変動計算書（基礎編） 21 連結会計①（基礎編） 22 連結会計②（基礎編） 23 連結会計③（基礎編） 24 連結会計④（基礎編） 25 連結会計⑤（基礎編） 26 連結会計⑥（基礎編） 27 本支店会計（基礎編） 28 製造業を営む会社の決算処理 29 伝票と帳簿（基礎編） 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎（基礎編） 2 個別原価計算の手続き（基礎編） 3 材料費会計（基礎編） 4 労務費会計（基礎編） 5 経費会計（基礎編） 6 製造間接費会計（基礎編） 7 製造間接費差異の原因別分析（基礎編） 8 単純個別原価計算Ⅰ（基礎編） 9 単純個別原価計算Ⅱ（基礎編） 10 工企業の財務諸表（基礎編） 11 工業簿記総まとめ①（基礎編） 12 部門別計算Ⅰ（基礎編） 13 部門別計算Ⅱ（基礎編） 14 確認テスト（第1回） 15 工業簿記総まとめ②（基礎編） 16 総合原価計算の手続き（基礎編） 17 単純総合原価計算（基礎編） 18 減損および仕損（基礎編） 19 工程別総合原価計算（基礎編） 20 組別総合原価計算（基礎編） 21 等級別総合原価計算（基礎編） 22 標準原価計算Ⅰ（基礎編） 23 標準原価計算Ⅱ（基礎編） 24 標準原価計算Ⅲ（基礎編） 25 工業簿記総まとめ③（基礎編） 26 CVP分析Ⅰ（基礎編） 27 CVP分析Ⅱ（基礎編） 28 直接原価計算（基礎編） 29 工業簿記総まとめ④（基礎編） 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必須
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬(基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭(基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮(基礎編) 16 工業簿記総まとめ①(基礎編) 17 工業簿記総まとめ②(基礎編) 18 工業簿記総まとめ③(基礎編) 19 工業簿記総まとめ④(基礎編) 20 工業簿記総まとめ⑤(基礎編) 21 工業簿記総まとめ⑥(基礎編) 22 工業簿記総まとめ⑦(基礎編) 23 工業簿記総まとめ⑧(基礎編) 24 工業簿記総まとめ⑨(基礎編) 25 工業簿記総まとめ⑩(基礎編) 26 工業簿記総まとめ⑪(基礎編) 27 工業簿記総まとめ⑫(基礎編) 28 工業簿記総まとめ⑬(基礎編) 29 工業簿記総まとめ⑭(基礎編) 30 工業簿記総まとめ⑮(基礎編) 31 総合問題演習①(テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習③(テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習④(テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習⑧(テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習⑨(テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑩(テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑪(テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑫(テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑬(テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑭(テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑮(テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	3級簿記総合
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必須
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(基礎編) 2 商業簿記総まとめ②(基礎編) 3 商業簿記総まとめ③(基礎編) 4 商業簿記総まとめ④(基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬(基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭(基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮(基礎編) 16 商業簿記総まとめ①(応用編) 17 商業簿記総まとめ②(応用編) 18 商業簿記総まとめ③(応用編) 19 商業簿記総まとめ④(応用編) 20 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 21 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 22 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 23 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 24 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 25 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 26 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 27 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 28 商業簿記総まとめ⑬(応用編) 29 商業簿記総まとめ⑭(応用編) 30 商業簿記総まとめ⑮(応用編) 31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮ 46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	3級商業簿記基礎
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本 4 商品売買Ⅰ（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 5 商品売買Ⅱ（返品、分記法） 6 商品売買Ⅲ（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 7 決算①（繰越商品および仕入の決算整理） 8 決算②（決算整理後残高試算表） 9 決算③（精算表） 10 現金および預金Ⅰ（現金、普通預金、当座預金） 11 現金および預金Ⅱ（複数口座の管理、当座借越） 12 手形および電子記録債権・債務 13 確認テスト（第1回） 14 商業簿記総まとめ① 15 決算④（受取手形および売掛金の決算整理） 16 有形固定資産 17 決算⑤（有形固定資産の決算整理） 18 その他の債権および債務Ⅰ（未収入金・未払金） 19 その他の債権および債務Ⅱ（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 20 その他の債権および債務Ⅲ（仮払金・仮受金、差入保証金） 21 その他の収益および費用 22 決算⑥（費用および収益の決算整理） 23 税金 24 決算⑦（その他の決算整理） 25 その他の勘定および訂正仕訳 26 損益計算書および貸借対照表Ⅰ 27 損益計算書および貸借対照表Ⅱ 28 確認テスト（第2回） 29 主要簿と補助簿 30 現金出納帳および当座預金出納帳 31 仕入帳・売上帳 32 商品有高帳 33 手形記入帳 34 試算表の作成 35 伝票会計① 36 伝票会計② 37 確認テスト（第3回） 38 商業簿記総まとめ② 39 商業簿記総まとめ③ 40 商業簿記総まとめ④ 41 商業簿記総まとめ⑤ 42 商業簿記総まとめ⑥ 43 商業簿記総まとめ⑦ 44 商業簿記総まとめ⑧ 45 商業簿記総まとめ⑨
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス行動論	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）	
授業概要	現場感覚のリスクマネジメントおよび逆転発想アプローチを理解し、実践力を学習します	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リスクに遭遇した際、遺憾なく実力を発揮し対処できる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1～2	企業活動とリスクマネジメント／企業活動に求められるリスクマネジメント
	3～4	企業活動とリスクマネジメント／企業が直面するリスク
	5～6	企業活動とリスクマネジメント／組織的なリスクマネジメント
	7～8	リスクに関する基礎知識／リスク
	9～10	リスクに関する基礎知識／結果－直接原因－原因－状況
	11～12	リスクに関する基礎知識／リスクの分類
	13～14	職場レベルのリスクマネジメント／リスクマネジメントの理解
	15～16	職場レベルのリスクマネジメント／リスクマネジメントの定義と進め方
	17～18	ヒューマンエラー／ヒューマンエラーの理解
	19～20	ヒューマンエラー／ヒューマンエラーの種類
	21～22	実践ポイント／リスクマネジメントの重点領域
	23～24	実践ポイント／リスクに強い職場をつくる
	25～29	レポート演習
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	試験100％　評価割合（客観式問題50％　論述式問題50％）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記初級Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記の基本原理および企業の日常業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 簿記の基本原理（基礎概念） 2 簿記の基本原理（取引①） 3 簿記の基本原理（取引②） 4 簿記の基本原理（勘定①） 5 簿記の基本原理（勘定②） 6 簿記の基本原理（帳簿①） 7 簿記の基本原理（帳簿②） 8 簿記の基本原理（証ひょうと伝票①） 9 簿記の基本原理（証ひょうと伝票②） 10 期中取引の処理（現金預金①） 11 期中取引の処理（現金預金②） 12 期中取引の処理（売掛金と買掛金） 13 期中取引の処理（その他の債権と債務①） 14 期中取引の処理（その他の債権と債務②） 15 期中取引の処理（手形①） 16 期中取引の処理（手形②） 17 期中取引の処理（商品①） 18 期中取引の処理（商品②） 19 期中取引の処理（固定資産①） 20 期中取引の処理（固定資産②） 21 期中取引の処理（純資産） 22 期中取引の処理（収益と費用①） 23 期中取引の処理（収益と費用②） 24 期中取引の処理（税金①） 25 期中取引の処理（税金②） 26 月次の集計① 27 月次の集計② 28 月次の集計③ 29 月次の集計④ 30 月次の集計⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記の基本原理と合わせて企業の日常業務及び月次の集計業務における実践的な簿記の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記初級総まとめ① 2 簿記初級総まとめ② 3 簿記初級総まとめ③ 4 簿記初級総まとめ④ 5 簿記初級総まとめ⑤ 6 簿記初級総まとめ⑥ 7 簿記初級総まとめ⑦ 8 簿記初級総まとめ⑧ 9 簿記初級総まとめ⑨ 10 簿記初級総まとめ⑩ 11 簿記初級試験対策① 12 簿記初級試験対策② 13 簿記初級試験対策③ 14 簿記初級試験対策④ 15 簿記初級試験対策⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記の学習の有無を問わず原価計算の基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 原価計算の基礎概念① 2 原価計算の基礎概念② 3 原価計算の基礎概念③ 4 原価計算の基礎概念④ 5 原価計算の基礎概念⑤ 6 原価計算の基礎概念⑥ 7 原価計算の基礎概念⑦ 8 原価計算の基礎概念⑧ 9 原価計算の基礎概念⑨ 10 原価計算の基礎概念⑩ 11 利益の計画と統制① 12 利益の計画と統制② 13 利益の計画と統制③ 14 利益の計画と統制④ 15 利益の計画と統制⑤ 16 利益の計画と統制⑥ 17 利益の計画と統制⑦ 18 利益の計画と統制⑧ 19 利益の計画と統制⑨ 20 利益の計画と統制⑩ 21 製品別（サービス別）期間損益計算① 22 製品別（サービス別）期間損益計算② 23 製品別（サービス別）期間損益計算③ 24 製品別（サービス別）期間損益計算④ 25 製品別（サービス別）期間損益計算⑤ 26 製品別（サービス別）期間損益計算⑥ 27 製品別（サービス別）期間損益計算⑦ 28 製品別（サービス別）期間損益計算⑧ 29 製品別（サービス別）期間損益計算⑨ 30 製品別（サービス別）期間損益計算⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	原価計算初級Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	原価計算の基本原理および企業の日常業務における実践的な原価計算の知識を
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に利活用することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 原価計算初級総まとめ① 2 原価計算初級総まとめ② 3 原価計算初級総まとめ③ 4 原価計算初級総まとめ④ 5 原価計算初級総まとめ⑤ 6 原価計算初級総まとめ⑥ 7 原価計算初級総まとめ⑦ 8 原価計算初級総まとめ⑧ 9 原価計算初級総まとめ⑨ 10 原価計算初級総まとめ⑩ 11 原価計算初級試験対策① 12 原価計算初級試験対策② 13 原価計算初級試験対策③ 14 原価計算初級試験対策④ 15 原価計算初級試験対策⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級会計学入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表（入門編） 2 有価証券（入門編） 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編） 4 有形固定資産①（入門編） 5 有形固定資産②（入門編） 6 割引現在価値（入門編） 7 リース取引①（入門編） 8 リース取引②（入門編） 9 研究開発費とソフトウェア（入門編） 10 固定資産の減損①（入門編） 11 固定資産の減損②（入門編） 12 繰延資産（入門編） 13 社債（入門編） 14 貸倒引当金（入門編） 15 退職給付①（入門編） 16 退職給付②（入門編） 17 資産除去債務①（入門編） 18 資産除去債務②（入門編） 19 純資産①（入門編） 20 純資産②（入門編） 21 純資産③（入門編） 22 新株予約権と新株予約権付社債（入門編） 23 ストック・オプション①（入門編） 24 ストック・オプション②（入門編） 25 税効果会計①（入門編） 26 税効果会計②（入門編） 27 税効果会計③（入門編） 28 外貨建取引①（入門編） 29 外貨建取引②（入門編） 30 外貨建取引③（入門編） 31 商品売買等①（入門編） 32 商品売買等②（入門編） 33 商品売買等③（入門編） 34 本支店会計①（入門編） 35 本支店会計②（入門編） 36 本支店会計③（入門編） 37 連結財務諸表総論①（入門編） 38 連結財務諸表総論②（入門編） 39 資本連結①（入門編） 40 資本連結②（入門編） 41 資本連結③（入門編） 42 資本連結④（入門編） 43 成果連結①（入門編） 44 成果連結②（入門編） 45 成果連結③（入門編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算（入門編） 2 費目別計算①（入門編） 3 費目別計算②（入門編） 4 部門別計算①（入門編） 5 部門別計算②（入門編） 6 部門別計算③（入門編） 7 部門別計算④（入門編） 8 部門別計算⑤（入門編） 9 部門別計算⑥（入門編） 10 個別原価計算①（入門編） 11 個別原価計算②（入門編） 12 個別原価計算③（入門編） 13 総合原価計算④（入門編） 14 総合原価計算⑤（入門編） 15 総合原価計算⑥（入門編） 16 総合原価計算⑦（入門編） 17 総合原価計算⑧（入門編） 18 標準原価計算①（入門編） 19 標準原価計算②（入門編） 20 標準原価計算③（入門編） 21 標準原価計算④（入門編） 22 標準原価計算⑤（入門編） 23 直接原価計算（入門編） 24 短期利益計画①（入門編） 25 短期利益計画②（入門編） 26 短期利益計画③（入門編） 27 予算管理①（入門編） 28 予算管理②（入門編） 29 予算管理③（入門編） 30 業務的意思決定①（入門編） 31 業務的意思決定②（入門編） 32 業務的意思決定③（入門編） 33 業務的意思決定④（入門編） 34 業務的意思決定⑤（入門編） 35 業務的意思決定⑥（入門編） 36 構造的意思決定①（入門編） 37 構造的意思決定②（入門編） 38 構造的意思決定③（入門編） 39 構造的意思決定④（入門編） 40 構造的意思決定⑤（入門編） 41 構造的意思決定⑥（入門編） 42 戦略的原価計算①（入門編） 43 戦略的原価計算②（入門編） 44 戦略的原価計算③（入門編） 45 戦略的原価計算④（入門編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級会計学基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 持分法①（基礎編） 2 持分法②（基礎編） 3 連結税効果①（基礎編） 4 連結税効果②（基礎編） 5 包括利益（基礎編） 6 在外子会社（基礎編） 7 企業結合①（基礎編） 8 企業結合②（基礎編） 9 事業分離①（基礎編） 10 事業分離②（基礎編） 11 キャッシュフロー計算書①（基礎編） 12 キャッシュフロー計算書②（基礎編） 13 連結キャッシュフロー計算書①（基礎編） 14 連結キャッシュフロー計算書②（基礎編） 15 会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別原価計算（基礎編） 2 部門別計算（基礎編） 3 総合原価計算①（基礎編） 4 総合原価計算②（基礎編） 5 標準原価計算①（基礎編） 6 標準原価計算②（基礎編） 7 標準原価計算③（基礎編） 8 予算管理（基礎編） 9 業務的意思決定①（基礎編） 10 業務的意思決定②（基礎編） 11 構造的意思決定①（基礎編） 12 構造的意思決定②（基礎編） 13 戦略的原価計算（基礎編） 14 事業部制①（基礎編） 15 事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級会計学総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ① 2 商業簿記・会計学総まとめ② 3 商業簿記・会計学総まとめ③ 4 商業簿記・会計学総まとめ④ 5 商業簿記・会計学総まとめ⑤ 6 商業簿記・会計学総まとめ⑥ 7 商業簿記・会計学総まとめ⑦ 8 商業簿記・会計学総まとめ⑧ 9 商業簿記・会計学総まとめ⑨ 10 商業簿記・会計学総まとめ⑩ 11 商業簿記・会計学総まとめ⑪ 12 商業簿記・会計学総まとめ⑫ 13 商業簿記・会計学総まとめ⑬ 14 商業簿記・会計学総まとめ⑭ 15 商業簿記・会計学総まとめ⑮ 16 商業簿記・会計学総まとめ⑯ 17 商業簿記・会計学総まとめ⑰ 18 商業簿記・会計学総まとめ⑱ 19 商業簿記・会計学総まとめ⑲ 20 商業簿記・会計学総まとめ⑳ 21 商業簿記・会計学総まとめ㉑ 22 商業簿記・会計学総まとめ㉒ 23 商業簿記・会計学総まとめ㉓ 24 商業簿記・会計学総まとめ㉔ 25 商業簿記・会計学総まとめ㉕ 26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説） 27 総合問題対策②（テスト形式の問題解説） 28 総合問題対策③（テスト形式の問題解説） 29 総合問題対策④（テスト形式の問題解説） 30 総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説） 31 総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説） 32 総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説） 33 総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説） 34 総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説） 35 総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説） 36 総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説） 37 総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説） 38 総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説） 39 総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説） 40 総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説） 41 総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説） 42 総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説） 43 総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説） 44 総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説） 45 総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記・原価計算総まとめ① 2 工業簿記・原価計算総まとめ② 3 工業簿記・原価計算総まとめ③ 4 工業簿記・原価計算総まとめ④ 5 工業簿記・原価計算総まとめ⑤ 6 工業簿記・原価計算総まとめ⑥ 7 工業簿記・原価計算総まとめ⑦ 8 工業簿記・原価計算総まとめ⑧ 9 工業簿記・原価計算総まとめ⑨ 10 工業簿記・原価計算総まとめ⑩ 11 工業簿記・原価計算総まとめ⑪ 12 工業簿記・原価計算総まとめ⑫ 13 工業簿記・原価計算総まとめ⑬ 14 工業簿記・原価計算総まとめ⑭ 15 工業簿記・原価計算総まとめ⑮ 16 工業簿記・原価計算総まとめ⑯ 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑰ 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑱ 19 工業簿記・原価計算総まとめ⑲ 20 工業簿記・原価計算総まとめ⑳ 21 工業簿記・原価計算総まとめ㉑ 22 工業簿記・原価計算総まとめ㉒ 23 工業簿記・原価計算総まとめ㉓ 24 工業簿記・原価計算総まとめ㉔ 25 工業簿記・原価計算総まとめ㉕ 26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説） 27 総合問題対策②（テスト形式の問題解説） 28 総合問題対策③（テスト形式の問題解説） 29 総合問題対策④（テスト形式の問題解説） 30 総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説） 31 総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説） 32 総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説） 33 総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説） 34 総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説） 35 総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説） 36 総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説） 37 総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説） 38 総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説） 39 総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説） 40 総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説） 41 総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説） 42 総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説） 43 総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説） 44 総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説） 45 総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論①（基礎編） 2 総論②（基礎編） 3 収益と費用（基礎編） 4 棚卸資産①（基礎編） 5 棚卸資産②（基礎編） 6 棚卸資産③（基礎編） 7 現金預金①（基礎編） 8 現金預金②（基礎編） 9 債権・債務等（基礎編） 10 有価証券①（基礎編） 11 有価証券②（基礎編） 12 有価証券③（基礎編） 13 有価証券④（基礎編） 14 有価証券⑤（基礎編） 15 有価証券⑥（基礎編） 16 固定資産①（基礎編） 17 固定資産②（基礎編） 18 固定資産③（基礎編） 19 固定資産④（基礎編） 20 固定資産⑤（基礎編） 21 固定資産⑥（基礎編） 22 為替換算会計①（基礎編） 23 為替換算会計②（基礎編） 24 為替換算会計③（基礎編） 25 引当金①（基礎編） 26 引当金②（基礎編） 27 引当金③（基礎編） 28 法人税等①（基礎編） 29 法人税等②（基礎編） 30 法人税等③（基礎編） 31 株式会社の純資産①（基礎編） 32 株式会社の純資産②（基礎編） 33 株式会社の純資産③（基礎編） 34 企業結合（基礎編） 35 株主資本等変動計算書①（基礎編） 36 株主資本等変動計算書②（基礎編） 37 連結会計①（基礎編） 38 連結会計②（基礎編） 39 連結会計③（基礎編） 40 連結会計④（基礎編） 41 連結会計⑤（基礎編） 42 連結会計⑥（基礎編） 43 連結会計⑦（基礎編） 44 連結会計⑧（基礎編） 45 連結会計⑨（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系（個別原価計算） 3 材料費会計① 4 材料費会計② 5 労務費会計① 6 労務費会計② 7 経費会計 8 製造間接費会計① 9 製造間接費会計② 10 単純個別原価計算① 11 単純個別原価計算② 12 単純個別原価計算③ 13 部門別計算① 14 部門別計算② 15 部門別計算③ 16 確認テスト（第1回） 17 工企業の財務諸表① 18 工企業の財務諸表② 19 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） 20 総合原価計算① 21 総合原価計算② 22 総合原価計算③ 23 総合原価計算④ 24 総合原価計算⑤ 25 総合原価計算⑥ 26 工程別総合原価計算① 27 工程別総合原価計算② 28 組別総合原価計算 29 等級別総合原価計算① 30 等級別総合原価計算② 31 標準原価計算① 32 標準原価計算② 33 標準原価計算③ 34 原価・営業量・利益関係の分析① 35 原価・営業量・利益関係の分析② 36 工場会計の独立 37 直接原価計算① 38 直接原価計算② 39 確認テスト（第2回） 40 工業簿記総まとめ① 41 工業簿記総まとめ② 42 工業簿記総まとめ③ 43 工業簿記総まとめ④ 44 工業簿記総まとめ⑤ 45 工業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、 上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計①（応用編） 2 本支店会計②（応用編） 3 本支店会計③（応用編） 4 製造業を営む会社の決算処理①（応用編） 5 製造業を営む会社の決算処理②（応用編） 6 製造業を営む会社の決算処理③（応用編） 7 伝票①（応用編） 8 伝票②（応用編） 9 伝票③（応用編） 10 商業簿記総まとめ① 11 商業簿記総まとめ② 12 商業簿記総まとめ③ 13 商業簿記総まとめ④ 14 商業簿記総まとめ⑤ 15 商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 費目別計算①（応用編） 2 費目別計算②（応用編） 3 単純個別原価計算①（応用編） 4 単純個別原価計算②（応用編） 5 部門別計算①（応用編） 6 部門別計算②（応用編） 7 工企業の財務諸表（応用編） 8 単純総合原価計算①（応用編） 9 単純総合原価計算②（応用編） 10 工程別総合原価計算（応用編） 11 組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編） 12 標準原価計算①（応用編） 13 標準原価計算②（応用編） 14 原価・営業量・利益関係の分析（応用編） 15 直接原価計算（応用編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、 総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(中級編) 2 商業簿記総まとめ②(中級編) 3 商業簿記総まとめ③(中級編) 4 商業簿記総まとめ④(中級編) 5 商業簿記総まとめ⑤(中級編) 6 商業簿記総まとめ⑥(中級編) 7 商業簿記総まとめ⑦(中級編) 8 商業簿記総まとめ⑧(中級編) 9 商業簿記総まとめ⑨(中級編) 10 商業簿記総まとめ⑩(中級編) 11 商業簿記総まとめ⑪(中級編) 12 商業簿記総まとめ⑫(中級編) 13 商業簿記総まとめ⑬(中級編) 14 商業簿記総まとめ⑭(中級編) 15 商業簿記総まとめ⑮(中級編) 16 工業簿記総まとめ①(中級編) 17 工業簿記総まとめ②(中級編) 18 工業簿記総まとめ③(中級編) 19 工業簿記総まとめ④(中級編) 20 工業簿記総まとめ⑤(中級編) 21 工業簿記総まとめ⑥(中級編) 22 工業簿記総まとめ⑦(中級編) 23 工業簿記総まとめ⑧(中級編) 24 工業簿記総まとめ⑨(中級編) 25 工業簿記総まとめ⑩(中級編) 26 工業簿記総まとめ⑪(中級編) 27 工業簿記総まとめ⑫(中級編) 28 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 29 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 30 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 31 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 32 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 33 総合問題演習②(テスト形式_中級編) 34 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 35 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 36 総合問題演習③(テスト形式_中級編) 37 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 38 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 39 総合問題演習④(テスト形式_中級編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編) 42 総合問題演習⑤(テスト形式_中級編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編) 44 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編) 45 総合問題演習⑥(テスト形式_中級編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(応用編) 2 商業簿記総まとめ②(応用編) 3 商業簿記総まとめ③(応用編) 4 商業簿記総まとめ④(応用編) 5 商業簿記総まとめ⑤(応用編) 6 商業簿記総まとめ⑥(応用編) 7 商業簿記総まとめ⑦(応用編) 8 商業簿記総まとめ⑧(応用編) 9 商業簿記総まとめ⑨(応用編) 10 商業簿記総まとめ⑩(応用編) 11 商業簿記総まとめ⑪(応用編) 12 商業簿記総まとめ⑫(応用編) 13 商業簿記総まとめ⑬(応用編) 14 商業簿記総まとめ⑭(応用編) 15 商業簿記総まとめ⑮(応用編) 16 工業簿記総まとめ①(応用編) 17 工業簿記総まとめ②(応用編) 18 工業簿記総まとめ③(応用編) 19 工業簿記総まとめ④(応用編) 20 工業簿記総まとめ⑤(応用編) 21 工業簿記総まとめ⑥(応用編) 22 工業簿記総まとめ⑦(応用編) 23 工業簿記総まとめ⑧(応用編) 24 工業簿記総まとめ⑨(応用編) 25 工業簿記総まとめ⑩(応用編) 26 工業簿記総まとめ⑪(応用編) 27 工業簿記総まとめ⑫(応用編) 28 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 29 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 30 総合問題演習①(テスト形式_応用編) 31 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 32 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 33 総合問題演習②(テスト形式_応用編) 34 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 35 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 36 総合問題演習③(テスト形式_応用編) 37 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 38 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 39 総合問題演習④(テスト形式_応用編) 40 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 41 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 42 総合問題演習⑤(テスト形式_応用編) 43 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 44 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編) 45 総合問題演習⑥(テスト形式_応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品売買総論 2 商品売買の記帳方法 3 商品有高帳の記帳 4 返品･値引･割戻の処理 5 割引の処理 6 原価率等 7 仕入諸掛り･販売諸掛りの処理 8 他勘定振替高 9 棚卸資産の範囲 10 棚卸資産の期末評価 11 棚卸減耗損 12 商品評価損 13 売価還元法 14 トレーディング目的で保有する棚卸資産 15 巻末総合問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 管理会計論総論 2 管理会計論の範囲 3 原価計算の本質･意義 4 原価計算の基本思考 5 原価計算の目的 6 費目別計算総論 7 原価の分類 8 材料費の計算 9 材料費の分類 10 労務費の計算 11 労務費の計算 12 経費の計算 13 経費の分類 14 製造間接費の計算 15 製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金 2 当座預金 3 割引現在価値の概要 4 現価係数 5 年金現価係数 6 売掛金･買掛金 7 その他の債権･債務 8 前払費用 9 未払費用 10 前受収益 11 未収収益 12 手形総論 13 約束手形 14 為替手形と偶発債務 15 手形の裏書譲渡 16 手形の割引 17 不渡手形 18 手形の更改 19 営業外手形 20 金融手形（手形借入金･手形貸付金） 21 売上債権に含まれる金利部分の会計処理 22 貸倒損失 23 貸倒引当金の設定 24 貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し 25 貸倒れ処理済債権の回収 26 手形の裏書譲渡･割引と貸倒引当金戻入 27 相殺適状 28 貸倒見積高の算定（一般債権） 29 貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権） 30 貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計の意義 2 資本循環と財務諸表 3 財務会計と管理会計 4 会計責任説と利害調整機能 5 意思決定有用性説と情報提供機能 6 利益の性格と財務会計の機能 7 会社法会計 8 金融商品取引法会計 9 単体開示の簡素化 10 企業会計原則 11 企業会計基準 12 会計基準の国際的コンバージェンス 13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い 14 米国基準の任意適用 15 原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 配賦基準 2 製造間接費の実際配賦 3 製造間接費の予定配賦 4 製造間接費予算 5 配賦差異の算定 6 固定予算 7 公式法変動予算 8 実査法変動予算 9 部門別計算の意義･目的 10 原価部門の設定 11 実際配賦（第1次集計） 12 実際配賦（第2次集計） 13 実際配賦（第3次集計） 14 予定配賦 15 予定配賦率の算定･予定配賦額の算定 16 製造部門費配賦差異の算定 17 補助部門費の配賦 18 配賦基準（単一基準配賦法） 19 配賦基準（複数基準配賦法） 20 配賦金額（実際発生額） 21 配賦金額（予定配賦額） 22 配賦金額（予算許容額） 23 個別原価計算総論 24 製造指図書と原価計算表 25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分 26 単純個別原価計算 27 ロット別個別原価計算 28 部門別個別原価計算の意義 29 個別原価計算における仕損の処理① 30 個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 **個人企業と共同作業** 2 **会社の概念** 3 **法人性に関する諸問題** 4 **4種類の会社** 5 **株式会社の分類** 6 **株式会社の本質的特徴** 7 **株主有限責任の原則から導かれる資本制度** 8 **本質的特徴から導かれる重要な制度** 9 **会社設立に関する立法主義** 10 **株式会社の設立手続きの流れ** 11 **株式会社の設立の方法** 12 **発起人の意義** 13 **発起人の資格** 14 **発起人の数** 15 **定款の意義** 16 定款の作成 17 定款の記載・記録事項 18 定款の備置き、閲覧・謄写 19 発起設立 20 募集設立 21 設立登記の手続き 22 設立登記の効力 23 変態設立事項に関する規制（規制の概要） 24 変態設立事項に関する規制（現物出資） 25 変態設立事項に関する規制（財産引受け） 26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬） 27 変態設立事項に関する規制（設立費用） 28 設立無効の意義 29 設立無効原因 30 設立無効の訴えの制度
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	監査手続きに関する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査とは 2 監査の分類 3 公認会計士の監査領域 4 財務諸表の監査の必要性 5 財務諸表の監査の機能 6 監査の固有の限界 7 二重責任の原則 8 財務諸表の作成責任 9 財務諸表の作成基準 10 監査人 11 監査業務の一年の流れ 12 財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠 13 監査手続き（監査技術） 14 リスク・アプローチ 15 リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題（初級編）① 5 個別基礎問題（初級編）② 6 個別基礎問題（初級編）③ 7 個別基礎問題（初級編）④ 8 個別基礎問題（初級編）⑤ 9 個別基礎問題（初級編）⑥ 10 個別基礎問題（初級編）⑦ 11 個別基礎問題（初級編）⑧ 12 個別基礎問題（初級編）⑨ 13 個別基礎問題（初級編）⑩ 14 個別基礎問題（初級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題（初級編）① 2 計算基礎問題（初級編）② 3 計算基礎問題（初級編）③ 4 計算基礎問題（初級編）④ 5 計算基礎問題（初級編）⑤ 6 計算基礎問題（初級編）⑥ 7 計算基礎問題（初級編）⑦ 8 計算基礎問題（初級編）⑧ 9 計算基礎問題（初級編）⑨ 10 計算基礎問題（初級編）⑩ 11 計算基礎問題（初級編）⑪ 12 計算基礎問題（初級編）⑫ 13 計算基礎問題（初級編）⑬ 14 計算基礎問題（初級編）⑭ 15 計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題（初級編）① 2 計算基礎問題（初級編）② 3 計算基礎問題（初級編）③ 4 計算基礎問題（初級編）④ 5 計算基礎問題（初級編）⑤ 6 計算基礎問題（初級編）⑥ 7 計算基礎問題（初級編）⑦ 8 計算基礎問題（初級編）⑧ 9 計算基礎問題（初級編）⑨ 10 計算基礎問題（初級編）⑩ 11 計算基礎問題（初級編）⑪ 12 計算基礎問題（初級編）⑫ 13 計算基礎問題（初級編）⑬ 14 計算基礎問題（初級編）⑭ 15 計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計(計算) 択一式応用問題（初級編)① 2 財務会計(理論) 択一式応用問題（初級編)① 3 管理会計 択一式応用問題（初級編)① 4 企業法 択一式応用問題（初級編)① 5 監査論 択一式応用問題（初級編)① 6 財務会計(計算) 択一式応用問題（初級編)② 7 財務会計(理論) 択一式応用問題（初級編)② 8 管理会計 択一式応用問題（初級編)② 9 企業法 択一式応用問題（初級編)② 10 監査論 択一式応用問題（初級編)② 11 財務会計(計算) 択一式応用問題（初級編)③ 12 財務会計(理論) 択一式応用問題（初級編)③ 13 管理会計 択一式応用問題（初級編)③ 14 企業法 択一式応用問題（初級編)③ 15 監査論 択一式応用問題（初級編)③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株式の意義等 2 株主の権利･義務 3 株主平等原則 4 株式の譲渡 5 自己株式の取得･処分等の制限 6 子会社による親会社株式の取得 7 株券 8 株主名簿 9 株式担保 10 株式振替制度 11 株式併合･株式分割･株式無償割当て･株式の消却 12 端数の処理 13 単元株制度 14 株主等売渡請求の概要 15 株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 IT（情報技術） 2 監査契約に係る予備的な活動 3 監査計画 4 監査証拠の入手方法 5 監査上の重要性 6 特別な検討を必要とするリスク 7 関連当事者との関係及び取引 8 会計上の見積り 9 財務諸表監査における不正の検討 10 監査における不正リスク対応基準 11 財務諸表監査における法令の検討 12 グループ監査 13 内部監査の利用 14 専門家の業務の利用 15 監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入（概要・計算構造） 3 減価償却（普通償却） 4 租税公課及び納税充当金 5 受取配当等の益金不算入 6 繰延資産（概要） 7 金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入 8 有価証券 9 所得税額控除（原則法） 10 寄附金の損金不算入 11 減価償却（特別償却・概要） 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投資理論の基礎知識 2 最適なポートフォリオの選択 3 資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム） 4 債券評価 5 裁定取引と効率的市場 6 マルチファクターモデルと行動ファイナンス 7 企業財務論の目的 8 資本コスト 9 最適資本構成 10 プロジェクトの評価 11 配当政策（ペイアウト政策その1） 12 自社株買い（ペイアウト政策その2） 13 財務情報分析 14 M&Aにおける企業価値評価 15 企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得と各種所得の金額の計算（総測） 3 減価償却 4 課税標準・課税所得金額の計算 5 所得控除額の計算 6 納税税額の計算（総則） 7 申告・納付 8 源泉徴収 9 有価証券に係る課税の特例 10 消費税法の概要 11 課税の対象 12 非課税 13 輸出免税等 14 課税標準 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮ 16 記述式基礎問題（初級編）⑯ 17 記述式基礎問題（初級編）⑰ 18 記述式基礎問題（初級編）⑱ 19 記述式基礎問題（初級編）⑲ 20 記述式基礎問題（初級編）⑳ 21 記述式基礎問題（初級編）㉑ 22 記述式基礎問題（初級編）㉒ 23 記述式基礎問題（初級編）㉓ 24 記述式基礎問題（初級編）㉔ 25 記述式基礎問題（初級編）㉕ 26 記述式基礎問題（初級編）㉖ 27 記述式基礎問題（初級編）㉗ 28 記述式基礎問題（初級編）㉘ 29 記述式基礎問題（初級編）㉙ 30 記述式基礎問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（初級編）① 2 記述式基礎問題（初級編）② 3 記述式基礎問題（初級編）③ 4 記述式基礎問題（初級編）④ 5 記述式基礎問題（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 有価証券総論 2 株式に係る期中処理 3 公社債に係る期中処理 4 有価証券の分類と評価 5 親会社株式 6 約定日基準 7 修正受渡日基準 8 デリバティブ取引の概要 9 先物取引 10 オプション取引 11 スワップ取引 12 ヘッジ会計の概要 13 繰延ヘッジ 14 時価ヘッジ 15 債権譲渡 16 ローン・パーティシペーション 17 デット・アサンプション 18 デット・エクイティ・スワップ 19 ゴルフ会員権 20 有形固定資産総論 21 取得原価の決定（購入） 22 取得原価の決定（時価建設） 23 取得原価の決定（現物出資） 24 取得原価の決定（交換） 25 取得原価の決定（贈与） 26 減価償却の概要 27 減価償却（定額法） 28 減価償却（旧定率法） 29 減価償却（200%定率法） 30 減価償却（250%定額法） 31 減価償却（級数法） 32 減価償却（生産高比例法） 33 資本的支出と収益的支出 34 総合償却 35 売却 36 除却 37 下取り買替え 38 圧縮記帳（直接減額方式） 39 臨時損失 40 保険差益 41 特別目的会社を活用した不動産の流動化 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計基準を設定するアプローチ 2 概念フレームワークの公表 3 財務報告の目的 4 会計情報の質的特性 5 財務諸表の構成要素 6 財務諸表における認識と測定 7 実現主義 8 発生主義 9 費用収益対応の原則 10 収支額基準 11 実現可能性基準 12 原価主義 13 時価主義 14 割引原価主義 15 費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合原価計算総論 2 総合原価計算 3 直接材料費と加工費 4 仕掛品の完成品換算 5 総合原価計算の種類 6 単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義） 7 単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法） 8 単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理） 9 単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理） 10 単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理） 11 工程別総合原価計算の処理 12 工程別計算の計算手順（累加法） 13 工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法） 14 予定振替原価の利用 15 追加原材料の意義 16 追加原材料（増量しない場合） 17 組別総合原価計算の意義 18 組別総合原価計算の手続 19 等級別総合原価計算の意義 20 完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法） 21 当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法） 22 連産品 23 連結原価（結合原価）の按分 24 連産品を副産物とみなす場合の計算 25 連結原価（結合原価）を按分する理由 26 授業内演習① 27 授業内演習② 28 授業内演習③ 29 授業内演習④ 30 授業内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方をを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 **総説一株式会社の機関設計** 2 **公開会社の機関構造の特色** 3 **株主総会** 4 **取締役** 5 **善管注意義務と忠実義務** 6 **競業避止義務** 7 **利益相反取引** 8 **取締役の責任** 9 **取締役の第三者に対する責任** 10 **取締役会の意義・設置** 11 **取締役会の権限** 12 **代表取締役** 13 **監査役** 14 **監査役会** 15 **会計参与** 16 会計監査人 17 指名委員会等設置会社 18 監査等委員会設置会社 19 募集株式の発行等 20 **募集事項の決定** 21 **募集事項の決定** 22 **出資の履行等** 23 募集株式の発行等の効力発生等 24 新株予約権 25 社債の意義 26 社債と株式の異同 27 社債の発行 28 社債の管理 29 社債の譲渡 30 利息の支払・償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査に関する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査の品質管理 2 監査人の交代（監査事務所間の交代） 3 監査役等とのコミュニケーション 4 内部統制の不備に関するコミュニケーション 5 監査調書 6 監査意見の内容 7 財務諸表の適正性 8 監査報告書 9 無限定適正意見の場合 10 除外事項付意見の場合 11 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 12 追記情報の意義 13 追記情報と保証機能 14 比較情報 15 監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①(入門編) 2 簿記の概要Ⅰ②(入門編) 3 簿記の概要Ⅰ③(入門編) 4 簿記の概要Ⅰ④(入門編) 5 現金預金Ⅰ①(入門編) 6 現金預金Ⅰ②(入門編) 7 現金預金Ⅰ③(入門編) 8 債権債務Ⅰ①(入門編) 9 債権債務Ⅰ②(入門編) 10 商品売買Ⅰ①(入門編) 11 商品売買Ⅰ②(入門編) 12 商品売買Ⅰ③(入門編) 13 給料等Ⅰ①(入門編) 14 給料等Ⅰ②(入門編) 15 固定資産Ⅰ①(入門編) 16 固定資産Ⅰ②(入門編) 17 固定資産Ⅰ③(入門編) 18 固定資産Ⅰ④(入門編) 19 固定資産Ⅰ⑤(入門編) 20 ソフトウェアⅠ①(入門編) 21 ソフトウェアⅠ②(入門編) 22 債権債務Ⅰ①(入門編) 23 債権債務Ⅰ②(入門編) 24 債権債務Ⅰ③(入門編) 25 貸倒れⅠ①(入門編) 26 貸倒れⅠ②(入門編) 27 貸倒れⅠ③(入門編) 28 退職給付会計Ⅰ①(入門編) 29 退職給付会計Ⅰ②(入門編) 30 退職給付会計Ⅰ③(入門編) 31 退職給付会計Ⅰ④(入門編) 32 税金Ⅰ①(入門編) 33 税金Ⅰ②(入門編) 34 社債Ⅰ①(入門編) 35 社債Ⅰ②(入門編) 36 社債Ⅰ③(入門編) 37 純資産会計Ⅰ①(入門編) 38 純資産会計Ⅰ②(入門編) 39 純資産会計Ⅰ③(入門編) 40 純資産会計Ⅰ④(入門編) 41 有価証券Ⅰ①(入門編) 42 有価証券Ⅰ②(入門編) 43 有価証券Ⅰ③(入門編) 44 有価証券Ⅰ④(入門編) 45 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①(入門編) 2 税効果会計Ⅰ②(入門編) 3 税効果会計Ⅰ③(入門編) 4 税効果会計Ⅰ④(入門編) 5 税効果会計Ⅰ⑤(入門編) 6 税効果会計Ⅰ⑥(入門編) 7 税効果会計Ⅰ⑦(入門編) 8 税効果会計Ⅰ⑧(入門編) 9 現在価値計算Ⅰ①(入門編) 10 現在価値計算Ⅰ②(入門編) 11 現在価値計算Ⅰ③(入門編) 12 保険金Ⅰ①(入門編) 13 保険金Ⅰ②(入門編) 14 保険金Ⅰ③(入門編) 15 新株予約権付社債Ⅰ①(入門編) 16 新株予約権付社債Ⅰ②(入門編) 17 新株予約権付社債Ⅰ③(入門編) 18 新株予約権付社債Ⅰ④(入門編) 19 新株予約権付社債Ⅰ⑤(入門編) 20 新株予約権付社債Ⅰ⑥(入門編) 21 減損会計Ⅰ①(入門編) 22 減損会計Ⅰ②(入門編) 23 減損会計Ⅰ③(入門編) 24 減損会計Ⅰ④(入門編) 25 資産除去債務Ⅰ①(入門編) 26 資産除去債務Ⅰ②(入門編) 27 外貨建会計Ⅰ①(入門編) 28 外貨建会計Ⅰ②(入門編) 29 外貨建会計Ⅰ③(入門編) 30 外貨建会計Ⅰ④(入門編) 31 外貨建会計Ⅰ⑤(入門編) 32 外貨建会計Ⅰ⑥(入門編) 33 リース会計Ⅰ①(入門編) 34 リース会計Ⅰ②(入門編) 35 リース会計Ⅰ③(入門編) 36 リース会計Ⅰ④(入門編) 37 リース会計Ⅰ⑤(入門編) 38 リース会計Ⅰ⑥(入門編) 39 試用販売Ⅰ①(入門編) 40 試用販売Ⅰ②(入門編) 41 試用販売Ⅰ③(入門編) 42 試用販売Ⅰ④(入門編) 43 試用販売Ⅰ⑤(入門編) 44 試用販売Ⅰ⑥(入門編) 45 割賦販売Ⅰ①(入門編) 46 割賦販売Ⅰ②(入門編) 47 割賦販売Ⅰ③(入門編) 48 割賦販売Ⅰ④(入門編) 49 割賦販売Ⅰ⑤(入門編) 50 割賦販売Ⅰ⑥(入門編) 51 未着品販売Ⅰ①(入門編) 52 未着品販売Ⅰ②(入門編) 53 未着品販売Ⅰ③(入門編) 54 未着品販売Ⅰ④(入門編) 55 委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編) 56 委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編) 57 委託販売･受託販売Ⅰ③(入門編) 58 委託販売･受託販売Ⅰ④(入門編) 59 委託販売･受託販売Ⅰ⑤(入門編) 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ①（入門編） 2 本支店会計Ⅰ②（入門編） 3 本支店会計Ⅰ③（入門編） 4 本支店会計Ⅰ④（入門編） 5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編） 6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編） 7 組織再編会計Ⅰ①（入門編） 8 組織再編会計Ⅰ②（入門編） 9 組織再編会計Ⅰ③（入門編） 10 組織再編会計Ⅰ④（入門編） 11 建設業会計Ⅰ①（入門編） 12 建設業会計Ⅰ②（入門編） 13 連結会計Ⅰ①（入門編） 14 連結会計Ⅰ②（入門編） 15 連結会計Ⅰ③（入門編） 16 連結会計Ⅰ④（入門編） 17 製造業会計Ⅰ①（入門編） 18 製造業会計Ⅰ②（入門編） 19 製造業会計Ⅰ③（入門編） 20 製造業会計Ⅰ④（入門編） 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編） 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編） 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編） 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編） 25 繰延資産Ⅰ①（入門編） 26 繰延資産Ⅰ②（入門編） 27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編） 28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編） 29 ストック・オプションⅠ（入門編） 30 商品売買Ⅱ①（入門編） 31 商品売買Ⅱ②（入門編） 32 固定資産Ⅱ①（入門編） 33 固定資産Ⅱ②（入門編） 34 退職給付会計Ⅱ①（入門編） 35 退職給付会計Ⅱ②（入門編） 36 試用販売Ⅱ①（入門編） 37 試用販売Ⅱ②（入門編） 38 割賦販売Ⅱ①（入門編） 39 割賦販売Ⅱ②（入門編） 40 本支店会計Ⅱ①（入門編） 41 本支店会計Ⅱ②（入門編） 42 組織再編会計Ⅱ①（入門編） 43 組織再編会計Ⅱ②（入門編） 44 連結会計Ⅱ①（入門編） 45 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
16	応用答練①（入門編）		
17	応用答練②（入門編）		
18	応用答練③（入門編）		
19	応用答練④（入門編）		
20	応用答練⑤（入門編）		
21	応用答練⑥（入門編）		
22	応用答練⑦（入門編）		
23	応用答練⑧（入門編）		
24	応用答練⑨（入門編）		
25	応用答練⑩（入門編）		
26	過去問演習①（入門編）		
27	過去問演習②（入門編）		
28	過去問演習③（入門編）		
29	過去問演習④（入門編）		
30	過去問演習⑤（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級簿記速習演習
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編） 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_基礎編） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_基礎編） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_基礎編） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_基礎編） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_基礎編） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_基礎編） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_基礎編） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_基礎編） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_基礎編） 28 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 29 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	全経簿記上級総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編）	31	総合問題対策①（全経速習編）
2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編）	32	総合問題対策②（全経速習編）
3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編）	33	総合問題対策③（全経速習編）
4	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編）	34	総合問題対策④（全経速習編）
5	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編）	35	総合問題対策⑤（全経速習編）
6	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編）	36	総合問題対策⑥（全経速習編）
7	商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編）	37	総合問題対策⑦（全経速習編）
8	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経速習編）	38	総合問題対策⑧（全経速習編）
9	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経速習編）	39	総合問題対策⑨（全経速習編）
10	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編）	40	総合問題対策⑩（全経速習編）
11	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編）	41	総合問題対策⑪（全経速習編）
12	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経速習編）	42	総合問題対策⑫（全経速習編）
13	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経速習編）	43	総合問題対策⑬（全経速習編）
14	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経速習編）	44	総合問題対策⑭（全経速習編）
15	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経速習編）	45	総合問題対策⑮（全経速習編）
16	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
17	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経速習編）	47	総合問題演習①（テスト形式）
18	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経速習編）	48	総合問題演習①（テスト形式）
19	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経速習編）	49	総合問題演習②（テスト形式）
20	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経速習編）	50	総合問題演習②（テスト形式）
21	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経速習編）	51	総合問題演習②（テスト形式）
22	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経速習編）	52	総合問題演習③（テスト形式）
23	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経速習編）	53	総合問題演習③（テスト形式）
24	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経速習編）	54	総合問題演習③（テスト形式）
25	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経速習編）	55	総合問題演習④（テスト形式）
26	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経速習編）	56	総合問題演習④（テスト形式）
27	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経速習編）	57	総合問題演習④（テスト形式）
28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経速習編）	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経速習編）	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経速習編）	60	総合問題演習⑤（テスト形式）

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的（初級） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級） 3 強制換価手続（初級） 4 担保の種類（初級） 5 滞納処分の概要（初級） 6 国税に優先する権利（初級） 7 国税相互間の優先関係（初級） 8 財産の調査（初級） 9 最優先される被担保債権（初級） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級） 12 不動産賃貸の先取特権等（初級） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（初級） 14 譲受前にある担保権（初級） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級） 16 差押の制限等、解除（初級） 17 差押の共通手続（初級） 18 第三者からの差押換え（初級） 19 差押換え（換価申立ての細部）（初級） 20 相続人からの差押換え（初級） 21 動産又は有価証券の差押え（初級） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（初級） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級） 24 国税徴収法第26条の計算（初級） 25 債権の差押え（初級） 26 不動産等の差押え（初級） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級） 30 確認テスト（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎） 2 交付要求及び督促時効（基礎） 3 参加差押え（基礎） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎） 5 換価配当（基礎） 6 担保のための仮登記（基礎） 7 物上代位権との調整（基礎） 8 納期限未到来の納税の猶予（基礎） 9 災害等による一般の納税の猶予（基礎） 10 換価の猶予（基礎） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎） 15 国税の担保（基礎） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎） 17 保全措置（基礎） 18 滞納処分の停止（基礎） 19 納付委託・弁済委託（基礎） 20 第二次納税義務（通則）（基礎） 21 第二次納税義務（人的限度）（基礎） 22 第二次納税義務（物的限度）（基礎） 23 不服申立（基礎） 24 滞納処分費（基礎） 25 納付義務の承継（基礎） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（基礎） 27 増額登記（基礎） 28 質権の証明と優先権行使の否認（基礎） 29 国税徴収法第26条準用（基礎） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎） 31 総合理論対策1（基礎） 32 総合理論対策2（基礎） 33 総合理論対策3（基礎） 34 総合理論対策4（基礎） 35 総合理論対策5（基礎） 36 総合理論対策6（基礎） 37 総合理論対策7（基礎） 38 総合理論対策8（基礎） 39 総合理論対策9（基礎） 40 総合問題演習1（基礎） 41 総合問題演習1（基礎） 42 総合問題演習2（基礎） 43 総合問題演習2（基礎） 44 総合問題演習3（基礎） 45 総合問題演習3（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（入門編） 2 簿記の概要Ⅰ②（入門編） 3 簿記の概要Ⅰ③（入門編） 4 簿記の概要Ⅰ④（入門編） 5 現金預金Ⅰ①（入門編） 6 現金預金Ⅰ②（入門編） 7 現金預金Ⅰ③（入門編） 8 債権債務Ⅰ①（入門編） 9 債権債務Ⅰ②（入門編） 10 商品売買Ⅰ①（入門編） 11 商品売買Ⅰ②（入門編） 12 商品売買Ⅰ③（入門編） 13 給料等Ⅰ①（入門編） 14 給料等Ⅰ②（入門編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門） 2 個別注記表（入門） 3 現金及び預金（入門） 4 債権債務（入門） 5 関係会社概念（入門） 6 売上原価の算定（入門） 7 貸倒れ（入門） 8 給料等（入門） 9 その他の引当金（入門） 10 退職給付会計（入門） 11 有形固定資産（入門） 12 無形固定資産（入門） 13 株主資本（入門） 14 財務諸表論の基礎概念（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（入門編） 3 課税の対象②（入門編） 4 課税の対象③（入門編） 5 課税の対象④（入門編） 6 非課税①（入門編） 7 非課税②（入門編） 8 非課税③（入門編） 9 非課税④（入門編） 10 輸出免税等①（入門編） 11 輸出免税等②（入門編） 12 輸出免税等③（入門編） 13 輸出免税等④（入門編） 14 資産の譲渡等の時期（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（入門） 3 相続税法と民法（入門） 4 相続人、代襲相続（入門） 5 養子の子の取扱い（入門） 6 相続の承認と放棄（入門） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門） 8 遺言による財産の取得（入門） 9 相続税の納税義務者（入門） 10 生命保険金等（入門） 11 相続税の非課税財産（入門） 12 相続税額の計算方法（入門） 13 生命保険金等の非課税金額（入門） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（初級） 2 納税義務者（初級） 3 課税所得の範囲（初級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（初級） 5 減価償却Ⅰ（初級） 6 減価償却Ⅱ（初級） 7 減価償却Ⅲ（初級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（初級） 10 租税公課等（初級） 11 納税充当金Ⅰ（初級） 12 納税充当金Ⅱ（初級） 13 別表四の作成（初級） 14 事業年度（初級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（入門編） 3 課税の対象②（入門編） 4 非課税①（入門編） 5 非課税②（入門編） 6 輸出免税等①（入門編） 7 輸出免税等②（入門編） 8 資産の譲渡等の時期（入門編） 9 控除対象仕入税額①（入門編） 10 控除対象仕入税額②（入門編） 11 売上げに係る対価の返還等（入門編） 12 貸倒れが生じた場合（入門編） 13 課税仕入れの範囲①（入門編） 14 課税仕入れの範囲②（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	講義			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）			
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	固定資産Ⅰ①(入門編)	31	社債Ⅰ①(入門編)
	2	固定資産Ⅰ②(入門編)	32	社債Ⅰ②(入門編)
	3	固定資産Ⅰ③(入門編)	33	社債Ⅰ③(入門編)
	4	固定資産Ⅰ④(入門編)	34	社債Ⅰ④(入門編)
	5	固定資産Ⅰ⑤(入門編)	35	社債Ⅰ⑤(入門編)
	6	固定資産Ⅰ⑥(入門編)	36	社債Ⅰ⑥(入門編)
	7	固定資産Ⅰ⑦(入門編)	37	純資産会計Ⅰ①(入門編)
	8	固定資産Ⅰ⑧(入門編)	38	純資産会計Ⅰ②(入門編)
	9	固定資産Ⅰ⑨(入門編)	39	純資産会計Ⅰ③(入門編)
	10	固定資産Ⅰ⑩(入門編)	40	純資産会計Ⅰ④(入門編)
	11	ソフトウェアⅠ①(入門編)	41	有価証券Ⅰ①(入門編)
	12	ソフトウェアⅠ②(入門編)	42	有価証券Ⅰ②(入門編)
	13	債権債務Ⅰ①(入門編)	43	有価証券Ⅰ③(入門編)
	14	債権債務Ⅰ②(入門編)	44	有価証券Ⅰ④(入門編)
	15	債権債務Ⅰ③(入門編)	45	確認テスト
	16	貸倒れⅠ①(入門編)		
	17	貸倒れⅠ②(入門編)		
	18	貸倒れⅠ③(入門編)		
	19	退職給付会計Ⅰ①(入門編)		
	20	退職給付会計Ⅰ②(入門編)		
	21	退職給付会計Ⅰ③(入門編)		
	22	退職給付会計Ⅰ④(入門編)		
	23	退職給付会計Ⅰ⑤(入門編)		
	24	退職給付会計Ⅰ⑥(入門編)		
	25	退職給付会計Ⅰ⑦(入門編)		
	26	退職給付会計Ⅰ⑧(入門編)		
	27	税金Ⅰ①(入門編)		
	28	税金Ⅰ②(入門編)		
	29	税金Ⅰ③(入門編)		
	30	税金Ⅰ④(入門編)		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券（入門） 2 満期保有目的の債券（入門） 3 子会社株式・関連会社株式（入門） 4 その他有価証券（入門） 5 ソフトウェア（入門） 6 法人税等・追徴還付（入門） 7 現在価値計算（入門） 8 社債（入門） 9 利益剰余金（入門） 10 自己株式（入門） 11 配当（入門） 12 外形基準、租税公課（入門） 13 源泉所得税、社会保険料（入門） 14 税効果会計（入門） 15 税効果注記（入門） 16 源泉所得税、社会保険料（入門） 17 株主資本等変動計算書（入門） 18 減損会計（入門） 19 配当を受けた株主の処理（入門） 20 圧縮記帳（入門） 21 外貨建取引（入門） 22 退職給付会計簡便法（入門） 23 繰延資産（入門） 24 為替予約（入門） 25 仕入・売上げの計上基準（入門） 26 消費税等（入門） 27 他勘定振替（入門） 28 外貨建有価証券（入門） 29 リース会計（入門） 30 証券投資信託（入門） 31 ゴルフ会員権（入門） 32 売価還元法（入門） 33 製造業会計（入門） 34 研究開発費（入門） 35 新株予約権（入門） 36 キャッシュ・フロー計算書（入門） 37 損益計算書総論（入門） 38 貸借対照表総論（入門） 39 資産総論（入門） 40 棚卸資産に関する会計基準（入門） 41 連続意見書（入門） 42 引当金（入門） 43 会計観（入門） 44 金融商品（入門） 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 控除対象仕入税額①（入門編） 2 控除対象仕入税額②（入門編） 3 控除対象仕入税額③（入門編） 4 控除対象仕入税額④（入門編） 5 控除対象仕入税額⑤（入門編） 6 控除対象仕入税額⑥（入門編） 7 売上げに係る対価の返還等①（入門編） 8 売上げに係る対価の返還等②（入門編） 9 売上げに係る対価の返還等③（入門編） 10 貸倒れが生じた場合①（入門編） 11 貸倒れが生じた場合②（入門編） 12 貸倒れが生じた場合③（入門編） 13 課税仕入れの範囲①（入門編） 14 課税仕入れの範囲②（入門編） 15 課税仕入れの範囲③（入門編） 16 課税仕入れの範囲④（入門編） 17 課税仕入れの範囲⑤（入門編） 18 課税仕入れの範囲⑥（入門編） 19 課税仕入れ等の時期①（入門編） 20 課税仕入れ等の時期②（入門編） 21 課税仕入れ等の時期③（入門編） 22 課税仕入れ等の時期④（入門編） 23 課税仕入れ等の時期⑤（入門編） 24 課税売上割合①（入門編） 25 課税売上割合②（入門編） 26 課税売上割合③（入門編） 27 課税売上割合④（入門編） 28 課税売上割合⑤（入門編） 29 課税売上割合⑥（入門編） 30 課税売上割合⑦（入門編） 31 課税期間における課税売上高①（入門編） 32 課税期間における課税売上高②（入門編） 33 課税期間における課税売上高③（入門編） 34 課税売上割合に準ずる割合①（入門編） 35 課税売上割合に準ずる割合②（入門編） 36 課税売上割合に準ずる割合③（入門編） 37 仕入れに係る対価の返還等①（入門編） 38 仕入れに係る対価の返還等②（入門編） 39 仕入れに係る対価の返還等③（入門編） 40 納税義務の免除①（入門編） 41 納税義務の免除②（入門編） 42 納税義務の免除③（入門編） 43 納税義務の免除④（入門編） 44 納税義務の免除⑤（入門編） 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 贈与税の概要（入門） 2 贈与税の納税義務者（入門） 3 弔慰金等（入門） 4 債務控除（入門） 5 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門） 6 相続時精算課税適用財産（入門） 7 生前贈与加算相続税の総額（入門） 8 算出相続税額の計算（入門） 9 相続税額の加算（入門） 10 贈与税額控除（暦年）（入門） 11 配偶者の税額軽減（入門） 12 未成年者控除（入門） 13 障害者控除（入門） 14 確認テスト①(理論) 15 特定納税義務者（入門） 16 特定納税義務者の債務控除（入門） 17 特定納税義務者の障害者控除（入門） 18 贈与税額控除（精算）（入門） 19 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門） 20 自用家屋（入門） 21 家屋と構造上一体となっている設備（入門） 22 特別養子制度（入門） 23 生命保険契約に関する権利（入門） 24 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門） 25 法定相続人の数（入門） 26 本来の財産（入門） 27 自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門） 28 地区区分の異なる宅地（入門） 29 側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門） 30 普通借地権（自用借地権）（入門） 31 貸宅地（入門） 32 貸家建付地（入門） 33 貸家建付借地権（入門） 34 貸家（入門） 35 一般動産（入門） 36 たな卸商品等（入門） 37 書画骨とう品（入門） 38 預貯金（入門） 39 上場株式（入門） 40 構築物（入門） 41 貸付金債権等（入門） 42 受取手形等（入門） 43 間口が狭小な宅地等（入門） 44 角切り宅地の間口距離（入門） 45 確認テスト②(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　２回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 貸倒損失Ⅰ（基礎） 2 貸倒損失Ⅱ（基礎） 3 貸倒損失Ⅲ（基礎） 4 貸倒損失Ⅳ（基礎） 5 貸倒引当金Ⅰ（基礎） 6 貸倒引当金Ⅱ（基礎） 7 貸倒引当金Ⅲ（基礎） 8 貸倒引当金Ⅳ（基礎） 9 欠損金Ⅰ（基礎） 10 欠損金Ⅱ（基礎） 11 欠損金Ⅲ（基礎） 12 欠損金Ⅳ（基礎） 13 外貨建取引Ⅰ（基礎） 14 外貨建取引Ⅱ（基礎） 15 外貨建取引Ⅲ（基礎） 16 外貨建取引Ⅳ（基礎） 17 有価証券Ⅰ（基礎） 18 有価証券Ⅱ（基礎） 19 有価証券Ⅲ（基礎） 20 有価証券Ⅳ（基礎） 21 収用等Ⅰ（基礎） 22 収用等Ⅱ（基礎） 23 収用等Ⅲ（基礎） 24 収用等Ⅳ（基礎） 25 所得税額控除Ⅰ（基礎） 26 所得税額控除Ⅱ（基礎） 27 所得税額控除Ⅲ（基礎） 28 所得税額控除Ⅳ（基礎） 29 国庫補助金等Ⅰ（基礎） 30 国庫補助金等Ⅱ（基礎） 31 国庫補助金等Ⅲ（基礎） 32 国庫補助金等Ⅳ（基礎） 33 別表五㈠の作成Ⅰ（基礎） 34 別表五㈠の作成Ⅱ（基礎） 35 別表五㈠の作成Ⅲ（基礎） 36 別表五㈠の作成Ⅳ（基礎） 37 圧縮記帳Ⅰ（基礎） 38 圧縮記帳Ⅱ（基礎） 39 圧縮記帳Ⅲ（基礎） 40 圧縮記帳Ⅳ（基礎） 41 圧縮記帳Ⅴ（基礎） 42 圧縮記帳Ⅵ（基礎） 43 圧縮記帳Ⅶ（基礎） 44 圧縮記帳Ⅷ（基礎） 45 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（入門編） 2 課税仕入れ等の時期②（入門編） 3 課税売上割合①（入門編） 4 課税売上割合②（入門編） 5 課税期間における課税売上高①（入門編） 6 課税期間における課税売上高②（入門編） 7 課税売上割合に準ずる割合①（入門編） 8 課税売上割合に準ずる割合②（入門編） 9 仕入れに係る対価の返還等（入門編） 10 納税義務の免除（入門編） 11 国境を越えた役務の提供①（入門編） 12 国境を越えた役務の提供②（入門編） 13 国境を越えた役務の提供③（入門編） 14 中間申告に係る納付税額の計算（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ①(入門編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(入門編)
2	税効果会計Ⅰ②(入門編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(入門編)
3	税効果会計Ⅰ③(入門編)	33	リース会計Ⅰ①(入門編)
4	税効果会計Ⅰ④(入門編)	34	リース会計Ⅰ②(入門編)
5	税効果会計Ⅰ⑤(入門編)	35	リース会計Ⅰ③(入門編)
6	税効果会計Ⅰ⑥(入門編)	36	リース会計Ⅰ④(入門編)
7	税効果会計Ⅰ⑦(入門編)	37	リース会計Ⅰ⑤(入門編)
8	税効果会計Ⅰ⑧(入門編)	38	リース会計Ⅰ⑥(入門編)
9	現在価値計算Ⅰ①(入門編)	39	試用販売Ⅰ①(入門編)
10	現在価値計算Ⅰ②(入門編)	40	試用販売Ⅰ②(入門編)
11	現在価値計算Ⅰ③(入門編)	41	試用販売Ⅰ③(入門編)
12	保険金Ⅰ①(入門編)	42	試用販売Ⅰ④(入門編)
13	保険金Ⅰ②(入門編)	43	試用販売Ⅰ⑤(入門編)
14	保険金Ⅰ③(入門編)	44	試用販売Ⅰ⑥(入門編)
15	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)	45	割賦販売Ⅰ①(入門編)
16	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)	46	割賦販売Ⅰ②(入門編)
17	新株予約権付社債Ⅰ③(入門編)	47	割賦販売Ⅰ③(入門編)
18	新株予約権付社債Ⅰ④(入門編)	48	割賦販売Ⅰ④(入門編)
19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(入門編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(入門編)
20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(入門編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(入門編)
21	減損会計Ⅰ①(入門編)	51	未着品販売Ⅰ①(入門編)
22	減損会計Ⅰ②(入門編)	52	未着品販売Ⅰ②(入門編)
23	減損会計Ⅰ③(入門編)	53	未着品販売Ⅰ③(入門編)
24	減損会計Ⅰ④(入門編)	54	未着品販売Ⅰ④(入門編)
25	資産除去債務Ⅰ①(入門編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編)
26	資産除去債務Ⅰ②(入門編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編)
27	外貨建会計Ⅰ①(入門編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(入門編)
28	外貨建会計Ⅰ②(入門編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(入門編)
29	外貨建会計Ⅰ③(入門編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(入門編)
30	外貨建会計Ⅰ④(入門編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間（４単位）			
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール＆リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール＆リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール＆リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール＆リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール＆リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国境を越えた役務の提供①（入門編） 2 国境を越えた役務の提供②（入門編） 3 国境を越えた役務の提供③（入門編） 4 国境を越えた役務の提供④（入門編） 5 国境を越えた役務の提供⑤（入門編） 6 中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） 7 中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） 8 課税仕入れ等の分類①（入門編） 9 課税仕入れ等の分類②（入門編） 10 課税仕入れ等の分類③（入門編） 11 課税仕入れ等の分類④（入門編） 12 課税仕入れ等の分類⑤（入門編） 13 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編） 14 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編） 15 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編） 16 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） 17 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） 18 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編） 19 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編） 20 納税義務の免除の特例①（入門編） 21 納税義務の免除の特例②（入門編） 22 納税義務の免除の特例③（入門編） 23 納税義務の免除の特例④（入門編） 24 納税義務の免除の特例⑤（入門編） 25 納税義務の免除の特例⑥（入門編） 26 納税義務の免除の特例⑦（入門編） 27 納税義務の免除の特例⑧（入門編） 28 納税義務の免除の特例⑨（入門編） 29 納税義務の免除の特例⑩（入門編） 30 納税義務の免除の特例⑪（入門編） 31 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） 32 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） 33 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編） 34 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編） 35 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） 36 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） 37 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編） 38 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編） 39 課税標準①（入門編） 40 課税標準②（入門編） 41 課税標準③（入門編） 42 課税標準④（入門編） 43 課税標準⑤（入門編） 44 課税標準⑥（入門編） 45 簡易課税制度①（入門編） 46 簡易課税制度②（入門編） 47 簡易課税制度③（入門編） 48 簡易課税制度④（入門編） 49 簡易課税制度⑤（入門編） 50 簡易課税制度⑥（入門編） 51 簡易課税制度⑦（入門編） 52 簡易課税制度⑧（入門編） 53 簡易課税制度⑨（入門編） 54 簡易課税制度⑩（入門編） 55 簡易課税制度⑪（入門編） 56 簡易課税制度⑫（入門編） 57 簡易課税制度⑬（入門編） 58 簡易課税制度⑭（入門編） 59 簡易課税制度⑮（入門編） 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	使用貸借により借り受けた宅地等（入門）	31	地積規模の大きな宅地（入門）
2	使用貸借により貸し付けられた宅地等（入門）	32	がけ地等を有する宅地（入門）
3	使用貸借により貸し付けられた家屋（入門）	33	旗竿状の宅地等（入門）
4	小規模宅地等の減額①（入門）	34	容積率の異なる宅地（入門）
5	小規模宅地等の減額②（入門）	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（入門）
6	小規模宅地等の減額③（入門）	36	確認テスト②(理論)
7	小規模宅地等の減額④（入門）	37	私道の用に供されている宅地（入門）
8	小規模宅地等の減額⑤（入門）	38	セットバックを必要とする宅地（入門）
9	小規模宅地等の減額⑥（入門）	39	上場株式（権利落）（入門）
10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利（入門）
11	取引相場のない株式①（入門）	41	宅地等の評価単位（入門）
12	取引相場のない株式②（入門）	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林（入門）
13	取引相場のない株式③（入門）	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（入門）
14	取引相場のない株式④（入門）	44	立木、立木の評価減（入門）
15	取引相場のない株式⑤（入門）	45	配当期待権（入門）
16	取引相場のない株式⑥（入門）	46	贈与税が課税される場合（入門）
17	取引相場のない株式⑦（入門）	47	相続税が課税される場合（入門）
18	取引相場のない株式⑧（入門）	48	負担付遺贈・贈与（入門）
19	取引相場のない株式⑨（入門）	49	贈与税の非課税財産（入門）
20	取引相場のない株式⑩（入門）	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
21	取引相場のない株式⑪（入門）	51	契約者貸付金等がある場合の保険金（入門）
22	取引相場のない株式⑫（入門）	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（入門）
23	取引相場のない株式⑬（入門）	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（入門）	54	証券投資信託受益証券（入門）
25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（入門）	55	ゴルフ会員権（入門）
26	相当の地代を支払っている場合の借地権（入門）	56	不動産投資信託証券（入門）
27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（入門）	57	措法70の非課税（入門）
28	利用区分が異なる建物（入門）	58	権利義務の承継（入門）
29	建築中の家屋（入門）	59	贈与税の配偶者控除（入門）
30	不整形地（入門）	60	確認テスト③(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間（４単位）			
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定Ⅰ（入門）	31	保険料Ⅰ（入門）
	2	役員判定Ⅱ（入門）	32	保険料Ⅱ（入門）
	3	役員給与Ⅰ（入門）	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
	4	役員給与Ⅱ（入門）	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
	5	使用人給与Ⅰ（入門）	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
	6	使用人給与Ⅱ（入門）	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
	7	特定資産の買換えⅠ（入門）	37	工事の請負Ⅰ（入門）
	8	特定資産の買換えⅡ（入門）	38	工事の請負Ⅱ（入門）
	9	外国税額控除Ⅰ（入門）	39	修正申告Ⅰ（入門）
	10	外国税額控除Ⅱ（入門）	40	修正申告Ⅱ（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	41	税効果会計Ⅰ（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	42	税効果会計Ⅱ（入門）
	13	みなし配当金Ⅰ（入門）	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
	14	みなし配当金Ⅱ（入門）	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
	15	資本等取引Ⅰ（入門）	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）
	16	資本等取引Ⅱ（入門）	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
	17	交換差益Ⅰ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
	18	交換差益Ⅱ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
	19	別表五㈡Ⅰ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
	20	別表五㈡Ⅱ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
	21	リース取引Ⅰ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
	22	リース取引Ⅱ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
	23	繰延資産Ⅰ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
	24	繰延資産Ⅱ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
	25	確定決算型Ⅰ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
	26	確定決算型Ⅱ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
	27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
	28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
	29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
	30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間（４単位）			
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①(入門編)	31	貸倒れⅠ①(入門編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(入門編)	32	貸倒れⅠ②(入門編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(入門編)	33	貸倒れⅠ③(入門編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(入門編)	34	退職給付会計Ⅰ①(入門編)
	5	現金預金Ⅰ①(入門編)	35	退職給付会計Ⅰ②(入門編)
	6	現金預金Ⅰ②(入門編)	36	退職給付会計Ⅰ③(入門編)
	7	現金預金Ⅰ③(入門編)	37	退職給付会計Ⅰ④(入門編)
	8	債権債務Ⅰ①(入門編)	38	退職給付会計Ⅰ⑤(入門編)
	9	債権債務Ⅰ②(入門編)	39	退職給付会計Ⅰ⑥(入門編)
	10	商品売買Ⅰ①(入門編)	40	退職給付会計Ⅰ⑦(入門編)
	11	商品売買Ⅰ②(入門編)	41	退職給付会計Ⅰ⑧(入門編)
	12	商品売買Ⅰ③(入門編)	42	税金Ⅰ①(入門編)
	13	給料等Ⅰ①(入門編)	43	税金Ⅰ②(入門編)
	14	給料等Ⅰ②(入門編)	44	税金Ⅰ③(入門編)
	15	給料等Ⅰ③(入門編)	45	税金Ⅰ④(入門編)
	16	固定資産Ⅰ①(入門編)	46	社債Ⅰ①(入門編)
	17	固定資産Ⅰ②(入門編)	47	社債Ⅰ②(入門編)
	18	固定資産Ⅰ③(入門編)	48	社債Ⅰ③(入門編)
	19	固定資産Ⅰ④(入門編)	49	社債Ⅰ④(入門編)
	20	固定資産Ⅰ⑤(入門編)	50	社債Ⅰ⑤(入門編)
	21	固定資産Ⅰ⑥(入門編)	51	社債Ⅰ⑥(入門編)
	22	固定資産Ⅰ⑦(入門編)	52	純資産会計Ⅰ①(入門編)
	23	固定資産Ⅰ⑧(入門編)	53	純資産会計Ⅰ②(入門編)
	24	固定資産Ⅰ⑨(入門編)	54	純資産会計Ⅰ③(入門編)
	25	固定資産Ⅰ⑩(入門編)	55	純資産会計Ⅰ④(入門編)
	26	ソフトウェアⅠ①(入門編)	56	有価証券Ⅰ①(入門編)
	27	ソフトウェアⅠ②(入門編)	57	有価証券Ⅰ②(入門編)
	28	債権債務Ⅰ①(入門編)	58	有価証券Ⅰ③(入門編)
	29	債権債務Ⅰ②(入門編)	59	有価証券Ⅰ④(入門編)
	30	債権債務Ⅰ③(入門編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎） 2 個別注記表（入門・基礎） 3 現金及び預金（入門・基礎） 4 債権債務（入門・基礎） 5 関係会社概念（入門・基礎） 6 売上原価の算定（入門・基礎） 7 貸倒れ（入門・基礎） 8 給料等（入門・基礎） 9 その他の引当金（入門・基礎） 10 退職給付会計（入門・基礎） 11 有形固定資産（入門・基礎） 12 無形固定資産（入門・基礎） 13 株主資本（入門・基礎） 14 財務諸表論の基礎概念（入門・基礎） 15 売買目的有価証券（入門・基礎） 16 満期保有目的の債券（入門・基礎） 17 子会社株式・関連会社株式（入門・基礎） 18 その他有価証券（入門・基礎） 19 ソフトウェア（入門・基礎） 20 法人税等・追徴還付（入門・基礎） 21 現在価値計算（入門・基礎） 22 社債（入門・基礎） 23 利益剰余金（入門・基礎） 24 自己株式（入門・基礎） 25 配当（入門・基礎） 26 外形基準、租税公課（入門・基礎） 27 源泉所得税、社会保険料（入門・基礎） 28 税効果会計（入門・基礎） 29 税効果注記（入門・基礎） 30 源泉所得税、社会保険料（入門・基礎） 31 株主資本等変動計算書（入門・基礎） 32 減損会計（入門・基礎） 33 配当を受けた株主の処理（入門・基礎） 34 圧縮記帳（入門・基礎） 35 外貨建取引（入門・基礎） 36 退職給付会計簡便法（入門・基礎） 37 繰延資産（入門・基礎） 38 為替予約（入門・基礎） 39 仕入・売上げの計上基準（入門・基礎） 40 消費税等（入門・基礎） 41 他勘定振替（入門・基礎） 42 外貨建有価証券（入門・基礎） 43 リース会計（入門・基礎） 44 証券投資信託（入門・基礎） 45 ゴルフ会員権（入門・基礎） 46 売価還元法（入門・基礎） 47 製造業会計（入門・基礎） 48 研究開発費（入門・基礎） 49 新株予約権（入門・基礎） 50 キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎） 51 損益計算書総論（入門・基礎） 52 貸借対照表総論（入門・基礎） 53 資産総論（入門・基礎） 54 棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎） 55 連続意見書（入門・基礎） 56 引当金（入門・基礎） 57 会計観（入門・基礎） 58 金融商品（入門・基礎） 59 収益性の低下（入門・基礎） 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ①（全経総合編） 2 商業簿記・会計学総まとめ②（全経総合編） 3 商業簿記・会計学総まとめ③（全経総合編） 4 工業簿記・原価計算総まとめ①（全経総合編） 5 工業簿記・原価計算総まとめ②（全経総合編） 6 工業簿記・原価計算総まとめ③（全経総合編） 7 商業簿記・会計学総まとめ④（全経総合編） 8 商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経総合編） 9 商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経総合編） 10 工業簿記・原価計算総まとめ④（全経総合編） 11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経総合編） 12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経総合編） 13 商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経総合編） 14 商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経総合編） 15 商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経総合編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経総合編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経総合編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経総合編） 19 商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経総合編） 20 商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経総合編） 21 商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経総合編） 22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経総合編） 23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経総合編） 24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経総合編） 25 商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経総合編） 26 商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経総合編） 27 商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経総合編） 28 工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経総合編） 29 工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経総合編） 30 工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経総合編） 31 商業簿記・会計学総まとめ⑯（全経総合編） 32 商業簿記・会計学総まとめ⑰（全経総合編） 33 商業簿記・会計学総まとめ⑱（全経総合編） 34 工業簿記・原価計算総まとめ⑯（全経総合編） 35 工業簿記・原価計算総まとめ⑰（全経総合編） 36 工業簿記・原価計算総まとめ⑱（全経総合編） 37 商業簿記・会計学総まとめ⑲（全経総合編） 38 商業簿記・会計学総まとめ⑳（全経総合編） 39 商業簿記・会計学総まとめ㉑（全経総合編） 40 工業簿記・原価計算総まとめ⑲（全経総合編） 41 工業簿記・原価計算総まとめ⑳（全経総合編） 42 工業簿記・原価計算総まとめ㉑（全経総合編） 43 商業簿記・会計学総まとめ㉒（全経総合編） 44 商業簿記・会計学総まとめ㉓（全経総合編） 45 商業簿記・会計学総まとめ㉔（全経総合編） 46 工業簿記・原価計算総まとめ㉒（全経総合編） 47 工業簿記・原価計算総まとめ㉓（全経総合編） 48 工業簿記・原価計算総まとめ㉔（全経総合編） 49 商業簿記・会計学総まとめ㉕（全経総合編） 50 商業簿記・会計学総まとめ㉖（全経総合編） 51 商業簿記・会計学総まとめ㉗（全経総合編） 52 工業簿記・原価計算総まとめ㉕（全経総合編） 53 工業簿記・原価計算総まとめ㉖（全経総合編） 54 工業簿記・原価計算総まとめ㉗（全経総合編） 55 商業簿記・会計学総まとめ㉘（全経総合編） 56 商業簿記・会計学総まとめ㉙（全経総合編） 57 商業簿記・会計学総まとめ㉚（全経総合編） 58 工業簿記・原価計算総まとめ㉘（全経総合編） 59 工業簿記・原価計算総まとめ㉙（全経総合編） 60 工業簿記・原価計算総まとめ㉚（全経総合編） 61 総合問題対策①（全経総合編） 62 総合問題対策②（全経総合編） 63 総合問題対策③（全経総合編） 64 総合問題対策④（全経総合編） 65 総合問題対策⑤（全経総合編） 66 総合問題対策⑥（全経総合編） 67 総合問題対策⑦（全経総合編） 68 総合問題対策⑧（全経総合編） 69 総合問題対策⑨（全経総合編） 70 総合問題対策⑩（全経総合編） 71 総合問題対策⑪（全経総合編） 72 総合問題対策⑫（全経総合編） 73 総合問題対策⑬（全経総合編） 74 総合問題対策⑭（全経総合編） 75 総合問題対策⑮（全経総合編） 76 総合問題対策⑯（全経総合編） 77 総合問題対策⑰（全経総合編） 78 総合問題対策⑱（全経総合編） 79 総合問題対策⑲（全経総合編） 80 総合問題対策⑳（全経総合編） 81 総合問題対策㉑（全経総合編） 82 総合問題対策㉒（全経総合編） 83 総合問題対策㉓（全経総合編） 84 総合問題対策㉔（全経総合編） 85 総合問題対策㉕（全経総合編） 86 総合問題対策㉖（全経総合編） 87 総合問題対策㉗（全経総合編） 88 総合問題対策㉘（全経総合編） 89 総合問題対策㉙（全経総合編） 90 総合問題対策㉚（全経総合編） 91 総合問題対策㉛（全経総合編） 92 総合問題対策㉜（全経総合編） 93 総合問題対策㉝（全経総合編） 94 総合問題対策㉞（全経総合編） 95 総合問題対策㉟（全経総合編） 96 総合問題対策㊱（全経総合編） 97 総合問題対策㊲（全経総合編） 98 総合問題対策㊳（全経総合編） 99 総合問題対策㊴（全経総合編） 100 総合問題対策㊵（全経総合編） 101 総合問題対策㊶（全経総合編） 102 総合問題対策㊷（全経総合編） 103 総合問題対策㊸（全経総合編） 104 総合問題対策㊹（全経総合編） 105 総合問題対策㊺（全経総合編） 106 総合問題演習①（テスト形式） 107 総合問題演習①（テスト形式） 108 総合問題演習①（テスト形式） 109 総合問題演習②（テスト形式） 110 総合問題演習②（テスト形式） 111 総合問題演習②（テスト形式） 112 総合問題演習③（テスト形式） 113 総合問題演習③（テスト形式） 114 総合問題演習③（テスト形式） 115 総合問題演習④（テスト形式） 116 総合問題演習④（テスト形式） 117 総合問題演習④（テスト形式） 118 総合問題演習⑤（テスト形式） 119 総合問題演習⑤（テスト形式） 120 総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類①（入門編） 2 課税仕入れ等の分類②（入門編） 3 課税仕入れ等の分類③（入門編） 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編） 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） 7 納税義務の免除の特例①（入門編） 8 納税義務の免除の特例②（入門編） 9 納税義務の免除の特例③（入門編） 10 納税義務の免除の特例④（入門編） 11 納税義務の免除の特例⑤（入門編） 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編） 15 課税標準①（入門編） 16 課税標準②（入門編） 17 簡易課税制度①（入門編） 18 簡易課税制度②（入門編） 19 簡易課税制度③（入門編） 20 簡易課税制度④（入門編） 21 軽減税率①（入門編） 22 軽減税率②（入門編） 23 旧税率に関する経過措置①（入門編） 24 旧税率に関する経過措置②（入門編） 25 複数税率の場合の計算①（入門編） 26 複数税率の場合の計算②（入門編） 27 国等に対する特例①（入門編） 28 国等に対する特例②（入門編） 29 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択C
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的（入門） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（入門） 3 強制換価手続（入門） 4 担保の種類（入門） 5 滞納処分の概要（入門） 6 国税に優先する権利（入門） 7 国税相互間の優先関係（入門） 8 財産の調査（入門） 9 最優先される被担保債権（入門） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（入門） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（入門） 12 不動産賃貸の先取特権等（入門） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（入門） 14 譲受前にある担保権（入門） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（入門） 16 差押の制限等、解除（入門） 17 差押の共通手続（入門） 18 第三者からの差押換え（入門） 19 差押換え（換価申立ての細部）（入門） 20 相続人からの差押換え（入門） 21 動産又は有価証券の差押え（入門） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（入門） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（入門） 24 国税徴収法第26条の計算（入門） 25 債権の差押え（入門） 26 不動産等の差押え（入門） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（入門） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（入門） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（入門） 30 確認テスト（入門）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画① 2 ライフプランニングと資金計画② 3 ライフプランニングと資金計画③ 4 ライフプランニングと資金計画④ 5 ライフプランニングと資金計画⑤ 6 ライフプランニングと資金計画⑥ 7 ライフプランニングと資金計画⑦ 8 ライフプランニングと資金計画⑧ 9 ライフプランニングと資金計画⑨ 10 ライフプランニングと資金計画⑩ 11 ライフプランニングと資金計画⑪ 12 ライフプランニングと資金計画⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リスク管理① 2 リスク管理② 3 リスク管理③ 4 リスク管理④ 5 リスク管理⑤ 6 リスク管理⑥ 7 リスク管理⑦ 8 リスク管理⑧ 9 リスク管理⑨ 10 リスク管理⑩ 11 リスク管理⑪ 12 リスク管理⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 金融資産運用① 2 金融資産運用② 3 金融資産運用③ 4 金融資産運用④ 5 金融資産運用⑤ 6 金融資産運用⑥ 7 金融資産運用⑦ 8 金融資産運用⑧ 9 金融資産運用⑨ 10 金融資産運用⑩ 11 金融資産運用⑪ 12 金融資産運用⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 タックスプランニング① 2 タックスプランニング② 3 タックスプランニング③ 4 タックスプランニング④ 5 タックスプランニング⑤ 6 タックスプランニング⑥ 7 タックスプランニング⑦ 8 タックスプランニング⑧ 9 タックスプランニング⑨ 10 タックスプランニング⑩ 11 タックスプランニング⑪ 12 タックスプランニング⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 不動産① 2 不動産② 3 不動産③ 4 不動産④ 5 不動産⑤ 6 不動産⑥ 7 不動産⑦ 8 不動産⑧ 9 不動産⑨ 10 不動産⑩ 11 不動産⑪ 12 不動産⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続・事業継承① 2 相続・事業継承② 3 相続・事業承継③ 4 相続・事業承継④ 5 相続・事業承継⑤ 6 相続・事業承継⑥ 7 相続・事業承継⑦ 8 相続・事業承継⑧ 9 相続・事業承継⑨ 10 相続・事業承継⑩ 11 相続・事業承継⑪ 12 相続・事業承継⑫ 13 まとめ　総復習① 14 まとめ　総復習② 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 事務職に適したスーツの着こなし 2 事務職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 事務職で良く聞かれる質疑応答① 5 事務職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 事務職職種研究① 7 事務職職種研究② 8 事務職職種研究③ 9 事務職職種研究④ 10 事務職職種研究⑤ 11 事務職への志望理由① 12 事務職への志望理由② 13 事務職への志望理由③ 14 事務職への志望理由④ 15 事務職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員	○
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし 2 販売・接客・企画職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答① 5 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 販売・接客・企画職職種研究① 7 販売・接客・企画職職種研究② 8 販売・接客・企画職職種研究③ 9 販売・接客・企画職職種研究④ 10 販売・接客・企画職職種研究⑤ 11 販売・接客・企画職への志望理由① 12 販売・接客・企画職への志望理由② 13 販売・接客・企画職への志望理由③ 14 販売・接客・企画職への志望理由④ 15 販売・接客・企画職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算④ 12 関数を使用しての条件付き計算⑤ 13 関数を使用しての条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営管理入門	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択Ｄ	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	経営管理の基本的理論・技法について理解し、実践への活用を考察する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経営管理の基本概念を説明できる、経営学の全体像を体系的に把握する	
教科書	「基礎からわかる経営管理」欧陽 菲、産業能率大学出版部、2015年	
特記		
授業計画	1～2	経営管理と経営学の概念
	3～4	企業と経営管理
	5～6	経営機能／経営者の役割コーポレートガバナンス
	7～8	経営機能／経営理念、企業文化
	9～10	管理機能／人的資源管理、財務会計と財務管理
	11～12	管理機能／製品開発管理、生産管理、販売管理
	13～14	理論／テイラー科学的管理法
	15～16	理論／日本的生産システム
	17～18	理論／ホーソン実験人間関係論
	19～20	理論／行動科学、ミクロ組織論
	21～22	理論／バーナード組織論、ナレッジマネジメント
	23～24	理論／リーダーシップ論、イノベーション
	25	外的成長力／米国型経営
	26	内的持続成長力／日本型経営
	27	中国の経済成長と経営スタイル
	28～29	レポート演習
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	試験100％　評価割合（客観式問題40％　論述式問題60％）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 本支店会計Ⅰ①（入門編） 2 本支店会計Ⅰ②（入門編） 3 本支店会計Ⅰ③（入門編） 4 本支店会計Ⅰ④（入門編） 5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編） 6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編） 7 組織再編会計Ⅰ①（入門編） 8 組織再編会計Ⅰ②（入門編） 9 組織再編会計Ⅰ③（入門編） 10 組織再編会計Ⅰ④（入門編） 11 建設業会計Ⅰ①（入門編） 12 建設業会計Ⅰ②（入門編） 13 連結会計Ⅰ①（入門編） 14 連結会計Ⅰ②（入門編） 15 連結会計Ⅰ③（入門編） 16 連結会計Ⅰ④（入門編） 17 製造業会計Ⅰ①（入門編） 18 製造業会計Ⅰ②（入門編） 19 製造業会計Ⅰ③（入門編） 20 製造業会計Ⅰ④（入門編） 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編） 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編） 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編） 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編） 25 繰延資産Ⅰ①（入門編） 26 繰延資産Ⅰ②（入門編） 27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編） 28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編） 29 ストック・オプションⅠ（入門編） 30 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 金利スワップ①（入門） 2 金利スワップ②（入門） 3 金利スワップ③（入門） 4 金利スワップ④（入門） 5 金利スワップ⑤（入門） 6 資産及び負債の貸借対照表能力①（入門） 7 資産及び負債の貸借対照表能力②（入門） 8 資産及び負債の貸借対照表能力③（入門） 9 資産及び負債の貸借対照表能力④（入門） 10 資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門） 11 投資のリスクからの解放①（入門） 12 投資のリスクからの解放②（入門） 13 投資のリスクからの解放③（入門） 14 投資のリスクからの解放④（入門） 15 投資のリスクからの解放⑤（入門） 16 配分と評価①（入門） 17 配分と評価②（入門） 18 配分と評価③（入門） 19 配分と評価④（入門） 20 配分と評価⑤（入門） 21 収益認識①（入門） 22 収益認識②（入門） 23 収益認識③（入門） 24 収益認識④（入門） 25 収益認識⑤（入門） 26 組織再①（入門） 27 組織再②（入門） 28 組織再③（入門） 29 組織再④（入門） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 軽減税率①（入門編） 2 軽減税率②（入門編） 3 軽減税率③（入門編） 4 軽減税率④（入門編） 5 軽減税率⑤（入門編） 6 軽減税率⑥（入門編） 7 旧税率に関する経過措置①（入門編） 8 旧税率に関する経過措置②（入門編） 9 旧税率に関する経過措置③（入門編） 10 旧税率に関する経過措置④（入門編） 11 旧税率に関する経過措置⑤（入門編） 12 旧税率に関する経過措置⑥（入門編） 13 複数税率の場合の計算①（入門編） 14 複数税率の場合の計算②（入門編） 15 複数税率の場合の計算③（入門編） 16 複数税率の場合の計算④（入門編） 17 複数税率の場合の計算⑤（入門編） 18 複数税率の場合の計算⑥（入門編） 19 国等に対する特例①（入門編） 20 国等に対する特例②（入門編） 21 国等に対する特例③（入門編） 22 国等に対する特例④（入門編） 23 国等に対する特例⑤（入門編） 24 国等に対する特例⑥（入門編） 25 国等に対する特例⑦（入門編） 26 国等に対する特例⑧（入門編） 27 特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編） 28 特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編） 29 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎） 2 未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎） 3 相次相続控除（基礎） 4 増改築等があった場合（基礎） 5 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 6 確認テスト①(理論) 7 無道路地（基礎） 8 定期借地権等（基礎） 9 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎） 10 土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎） 11 造成費相当額の算定（平坦地）（基礎） 12 公社債（基礎） 13 雇用主が保険料を負担している場合（基礎） 14 保険金の評価（基礎） 15 確認テスト②(理論) 16 定期金に関する権利（基礎） 17 保証期間付定期金に関する権利（基礎） 18 契約に基づかない定期金に関する権利（基礎） 19 財産の所在（基礎） 20 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎） 21 相続税の外国税額控除（基礎） 22 贈与税の外国税額控除（基礎） 23 確認テスト③(理論) 24 養子の子の応用的な取扱い（基礎） 25 農地等の相続税の納税猶予（基礎） 26 非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎） 27 非上場株式の相続税の納税猶予（基礎） 28 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎） 29 個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎） 30 確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　４回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結納税制度1（初級） 2 連結納税制度2（初級） 3 連結納税制度3（初級） 4 連結納税制度4（初級） 5 連結納税制度5（初級） 6 連結納税制度6（初級） 7 連結納税制度7（初級） 8 連結納税制度8（初級） 9 連結納税制度9（初級） 10 連結納税制度10（初級） 11 連結納税制度11（初級） 12 連結納税制度12（初級） 13 連結納税制度13（初級） 14 連結納税制度14（初級） 15 連結納税制度15（初級） 16 連結納税制度16（初級） 17 連結納税制度17（初級） 18 連結納税制度18（初級） 19 連結納税制度19（初級） 20 連結納税制度20（初級） 21 試験研究費の特別控除1（初級） 22 試験研究費の特別控除2（初級） 23 試験研究費の特別控除3（初級） 24 試験研究費の特別控除4（初級） 25 資産除去債務1（初級） 26 資産除去債務2（初級） 27 資産除去債務3（初級） 28 解散税制1（初級） 29 解散税制2（初級） 30 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金Ⅱ①（入門編） 2 債権債務Ⅱ①（入門編） 3 商品売買Ⅱ①（入門編） 4 商品売買Ⅱ②（入門編） 5 商品売買Ⅱ③（入門編） 6 固定資産Ⅱ①（入門編） 7 固定資産Ⅱ②（入門編） 8 固定資産Ⅱ③（入門編） 9 退職給付会計Ⅱ①（入門編） 10 退職給付会計Ⅱ②（入門編） 11 退職給付会計Ⅱ③（入門編） 12 債権債務Ⅱ①（入門編） 13 債権債務Ⅱ②（入門編） 14 税金Ⅱ①（入門編） 15 社債Ⅱ①（入門編） 16 社債Ⅱ②（入門編） 17 社債Ⅱ③（入門編） 18 純資産会計Ⅱ①（入門編） 19 純資産会計Ⅱ②（入門編） 20 純資産会計Ⅱ③（入門編） 21 有価証券Ⅱ①（入門編） 22 有価証券Ⅱ②（入門編） 23 有価証券Ⅱ③（入門編） 24 外貨建会計Ⅱ①（入門編） 25 外貨建会計Ⅱ②（入門編） 26 リース会計Ⅱ①（入門編） 27 リース会計Ⅱ②（入門編） 28 試用販売Ⅱ①（入門編） 29 試用販売Ⅱ②（入門編） 30 割賦販売Ⅱ①（入門編） 31 割賦販売Ⅱ②（入門編） 32 割賦販売Ⅱ③（入門編） 33 未着品販売Ⅱ①（入門編） 34 未着品販売Ⅱ②（入門編） 35 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編） 36 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編） 37 本支店会計Ⅱ①（入門編） 38 本支店会計Ⅱ②（入門編） 39 組織再編会計Ⅱ①（入門編） 40 組織再編会計Ⅱ②（入門編） 41 連結会計Ⅱ①（入門編） 42 連結会計Ⅱ②（入門編） 43 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編） 44 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編） 45 項目別答練①（入門編） 46 項目別答練②（入門編） 47 項目別答練③（入門編） 48 項目別答練④（入門編） 49 項目別答練⑤（入門編） 50 項目別答練⑥（入門編） 51 基礎答練①（入門編） 52 基礎答練②（入門編） 53 基礎答練③（入門編） 54 基礎答練④（入門編） 55 基礎答練⑤（入門編） 56 基礎答練⑥（入門編） 57 基礎答練⑦（入門編） 58 基礎答練⑧（入門編） 59 基礎答練⑨（入門編） 60 基礎答練⑩（入門編） 61 応用答練①（入門編） 62 応用答練②（入門編） 63 応用答練③（入門編） 64 応用答練④（入門編） 65 応用答練⑤（入門編） 66 応用答練⑥（入門編） 67 応用答練⑦（入門編） 68 応用答練⑧（入門編） 69 応用答練⑨（入門編） 70 応用答練⑩（入門編） 71 過去問演習①（入門編） 72 過去問演習②（入門編） 73 過去問演習③（入門編） 74 過去問演習④（入門編） 75 過去問演習⑤（入門編） 76 過去問演習⑥（入門編） 77 過去問演習⑦（入門編） 78 過去問演習⑧（入門編） 79 過去問演習⑨（入門編） 80 過去問演習⑩（入門編） 81 問題演習実践①（入門編） 82 問題演習実践②（入門編） 83 問題演習実践③（入門編） 84 問題演習実践④（入門編） 85 問題演習実践⑤（入門編） 86 問題演習実践⑥（入門編） 87 問題演習実践⑦（入門編） 88 問題演習実践⑧（入門編） 89 問題演習実践⑨（入門編） 90 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門） 2 財務諸表論総まとめ①（入門） 3 財務諸表論総まとめ②（入門） 4 財務諸表論総まとめ②（入門） 5 財務諸表論総まとめ③（入門） 6 財務諸表論総まとめ③（入門） 7 財務諸表論総まとめ④（入門） 8 財務諸表論総まとめ④（入門） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 11 財務諸表論総まとめ⑥（入門） 12 財務諸表論総まとめ⑥（入門） 13 財務諸表論総まとめ⑦（入門） 14 財務諸表論総まとめ⑦（入門） 15 財務諸表論総まとめ⑧（入門） 16 財務諸表論総まとめ⑧（入門） 17 財務諸表論総まとめ⑨（入門） 18 財務諸表論総まとめ⑨（入門） 19 財務諸表論総まとめ⑩（入門） 20 財務諸表論総まとめ⑩（入門） 21 財務諸表論総まとめ⑪（入門） 22 財務諸表論総まとめ⑪（入門） 23 財務諸表論総まとめ⑫（入門） 24 財務諸表論総まとめ⑫（入門） 25 財務諸表論総まとめ⑬（入門） 26 財務諸表論総まとめ⑬（入門） 27 財務諸表論総まとめ⑭（入門） 28 財務諸表論総まとめ⑭（入門） 29 財務諸表論総まとめ⑮（入門） 30 財務諸表論総まとめ⑮（入門） 31 財務諸表論総まとめ⑯（入門） 32 財務諸表論総まとめ⑯（入門） 33 財務諸表論総まとめ⑰（入門） 34 財務諸表論総まとめ⑰（入門） 35 財務諸表論総まとめ⑱（入門） 36 財務諸表論総まとめ⑱（入門） 37 財務諸表論総まとめ⑲（入門） 38 財務諸表論総まとめ⑲（入門） 39 財務諸表論総まとめ⑳（入門） 40 財務諸表論総まとめ⑳（入門） 41 総合問題対策①（入門） 42 総合問題対策①（入門） 43 総合問題対策②（入門） 44 総合問題対策②（入門） 45 総合問題対策③（入門） 46 総合問題対策③（入門） 47 総合問題対策④（入門） 48 総合問題対策④（入門） 49 総合問題対策⑤（入門） 50 総合問題対策⑤（入門） 51 総合問題対策⑥（入門） 52 総合問題対策⑥（入門） 53 総合問題対策⑦（入門） 54 総合問題対策⑦（入門） 55 総合問題対策⑧（入門） 56 総合問題対策⑧（入門） 57 総合問題対策⑨（入門） 58 総合問題対策⑨（入門） 59 総合問題対策⑩（入門） 60 総合問題対策⑩（入門） 61 総合問題対策⑪（入門） 62 総合問題対策⑪（入門） 63 総合問題対策⑫（入門） 64 総合問題対策⑫（入門） 65 総合問題対策⑬（入門） 66 総合問題対策⑬（入門） 67 総合問題対策⑭（入門） 68 総合問題対策⑭（入門） 69 総合問題対策⑮（入門） 70 総合問題対策⑮（入門） 71 総合問題対策⑯（入門） 72 総合問題対策⑯（入門） 73 総合問題対策⑰（入門） 74 総合問題対策⑰（入門） 75 総合問題対策⑱（入門） 76 総合問題対策⑱（入門） 77 総合問題対策⑲（入門） 78 総合問題対策⑲（入門） 79 総合問題対策⑳（入門） 80 総合問題対策⑳（入門） 81 総合問題対策㉑（入門） 82 総合問題対策㉑（入門） 83 総合問題対策㉒（入門） 84 総合問題対策㉒（入門） 85 総合問題対策㉓（入門） 86 総合問題対策㉓（入門） 87 総合問題対策㉔（入門） 88 総合問題対策㉔（入門） 89 模擬試験(計算) 90 模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題対策①（初級編） 2 個別問題対策②（初級編） 3 個別問題対策③（初級編） 4 個別問題対策④（初級編） 5 個別問題対策⑤（初級編） 6 個別問題対策⑥（初級編） 7 個別問題対策⑦（初級編） 8 個別問題対策⑧（初級編） 9 個別問題対策⑨（初級編） 10 個別問題対策⑩（初級編） 11 個別問題対策⑪（初級編） 12 個別問題対策⑫（初級編） 13 個別問題対策⑬（初級編） 14 個別問題対策⑭（初級編） 15 理論問題対策①（初級編） 16 理論問題対策②（初級編） 17 理論問題対策③（初級編） 18 理論問題対策④（初級編） 19 理論問題対策⑤（初級編） 20 理論問題対策⑥（初級編） 21 理論問題対策⑦（初級編） 22 理論問題対策⑧（初級編） 23 理論問題対策⑨（初級編） 24 理論問題対策⑩（初級編） 25 理論問題対策⑪（初級編） 26 理論問題対策⑫（初級編） 27 理論問題対策⑬（初級編） 28 総合問題対策①（初級編） 29 総合問題対策②（初級編） 30 総合問題対策③（初級編） 31 総合問題対策④（初級編） 32 総合問題対策⑤（初級編） 33 総合問題対策⑥（初級編） 34 総合問題対策⑦（初級編） 35 総合問題対策⑧（初級編） 36 総合問題対策⑨（初級編） 37 総合問題対策⑩（初級編） 38 総合問題対策⑪（初級編） 39 総合問題対策⑫（初級編） 40 総合問題対策⑬（初級編） 41 総合問題対策⑭（初級編） 42 総合問題対策⑮（初級編） 43 総合問題対策⑯（初級編） 44 総合問題対策⑰（初級編） 45 総合問題対策⑱（初級編） 46 総合問題対策⑲（初級編） 47 総合問題対策⑳（初級編） 48 総合問題対策㉑（初級編） 49 総合問題対策㉒（初級編） 50 総合問題対策㉓（初級編） 51 総合問題対策㉔（初級編） 52 総合問題対策㉕（初級編） 53 総合問題対策㉖（初級編） 54 総合問題対策㉗（初級編） 55 総合問題対策㉘（初級編） 56 総合問題対策㉙（初級編） 57 総合問題対策㉚（初級編） 58 総合問題対策㉛（初級編） 59 総合問題対策㉜（初級編） 60 総合問題対策㉝（初級編） 61 総合問題対策㉞（初級編） 62 総合問題対策㉟（初級編） 63 総合問題対策㊱（初級編） 64 総合問題対策㊲（初級編） 65 総合問題対策㊳（初級編） 66 総合問題対策㊴（初級編） 67 総合問題対策㊵（初級編） 68 総合問題対策㊶（初級編） 69 総合問題対策㊷（初級編） 70 総合問題対策㊸（初級編） 71 総合問題演習①（初級編） 72 総合問題演習①（初級編） 73 総合問題演習②（初級編） 74 総合問題演習②（初級編） 75 総合問題演習③（初級編） 76 総合問題演習③（初級編） 77 総合問題演習④（初級編） 78 総合問題演習④（初級編） 79 総合問題演習⑤（初級編） 80 総合問題演習⑤（初級編） 81 総合問題演習⑥（初級編） 82 総合問題演習⑥（初級編） 83 総合問題演習⑦（初級編） 84 総合問題演習⑦（初級編） 85 総合問題演習⑧（初級編） 86 総合問題演習⑧（初級編） 87 総合問題演習⑨（初級編） 88 総合問題演習⑨（初級編） 89 総合問題演習⑩（初級編） 90 総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の理論　１０回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続税法総まとめ①（基礎編） 2 相続税法総まとめ①（基礎編） 3 相続税法総まとめ②（基礎編） 4 相続税法総まとめ②（基礎編） 5 相続税法総まとめ③（基礎編） 6 相続税法総まとめ③（基礎編） 7 相続税法総まとめ④（基礎編） 8 相続税法総まとめ④（基礎編） 9 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 10 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 11 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 12 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 13 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 14 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 15 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 16 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 17 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 18 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 19 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 20 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 21 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 22 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 23 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 24 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 25 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 26 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 27 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 28 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 29 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 30 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 31 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 32 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 33 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 34 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 35 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 36 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 37 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 38 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 39 相続税法総まとめ⑳（基礎編） 40 相続税法総まとめ⑳（基礎編） 41 総合問題対策①（基礎編） 42 総合問題対策①（基礎編） 43 総合問題対策②（基礎編） 44 総合問題対策②（基礎編） 45 総合問題対策③（基礎編） 46 総合問題対策③（基礎編） 47 総合問題対策④（基礎編） 48 総合問題対策④（基礎編） 49 総合問題対策⑤（基礎編） 50 総合問題対策⑤（基礎編） 51 総合問題対策⑥（基礎編） 52 総合問題対策⑥（基礎編） 53 総合問題対策⑦（基礎編） 54 総合問題対策⑦（基礎編） 55 総合問題対策⑧（基礎編） 56 総合問題対策⑧（基礎編） 57 総合問題対策⑨（基礎編） 58 総合問題対策⑨（基礎編） 59 総合問題対策⑩（基礎編） 60 総合問題対策⑩（基礎編） 61 総合問題対策⑪（基礎編） 62 総合問題対策⑪（基礎編） 63 総合問題対策⑫（基礎編） 64 総合問題対策⑫（基礎編） 65 総合問題対策⑬（基礎編） 66 総合問題対策⑬（基礎編） 67 総合問題対策⑭（基礎編） 68 総合問題対策⑭（基礎編） 69 総合問題対策⑮（基礎編） 70 総合問題対策⑮（基礎編） 71 総合問題対策⑯（基礎編） 72 総合問題対策⑯（基礎編） 73 総合問題対策⑰（基礎編） 74 総合問題対策⑰（基礎編） 75 総合問題対策⑱（基礎編） 76 総合問題対策⑱（基礎編） 77 総合問題対策⑲（基礎編） 78 総合問題対策⑲（基礎編） 79 総合問題対策⑳（基礎編） 80 総合問題対策⑳（基礎編） 81 総合問題対策㉑（基礎編） 82 総合問題対策㉑（基礎編） 83 総合問題対策㉒（基礎編） 84 総合問題対策㉒（基礎編） 85 総合問題対策㉓（基礎編） 86 総合問題対策㉓（基礎編） 87 総合問題対策㉔（基礎編） 88 総合問題対策㉔（基礎編） 89 総合問題対策㉕（基礎編） 90 総合問題対策㉕（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題対策㉕の得点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択E			
授業方法	演習			
授業時間	１８０時間（６単位）			
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1（初級）	46	総合問題対策46（初級）
	2	総合問題対策2（初級）	47	総合問題対策47（初級）
	3	総合問題対策3（初級）	48	総合問題対策48（初級）
	4	総合問題対策4（初級）	49	総合問題対策49（初級）
	5	総合問題対策5（初級）	50	総合問題対策50（初級）
	6	総合問題対策6（初級）	51	総合問題対策51（初級）
	7	総合問題対策7（初級）	52	総合問題対策52（初級）
	8	総合問題対策8（初級）	53	総合問題対策53（初級）
	9	総合問題対策9（初級）	54	総合問題対策54（初級）
	10	総合問題対策10（初級）	55	総合問題対策55（初級）
	11	総合問題対策11（初級）	56	総合問題対策56（初級）
	12	総合問題対策12（初級）	57	総合問題対策57（初級）
	13	総合問題対策13（初級）	58	総合問題対策58（初級）
	14	総合問題対策14（初級）	59	総合問題対策59（初級）
	15	総合問題対策15（初級）	60	総合問題対策60（初級）
	16	総合問題対策16（初級）	61	総合問題対策61（初級）
	17	総合問題対策17（初級）	62	総合問題対策62（初級）
	18	総合問題対策18（初級）	63	総合問題対策63（初級）
	19	総合問題対策19（初級）	64	総合問題対策64（初級）
	20	総合問題対策20（初級）	65	総合問題対策65（初級）
	21	総合問題対策21（初級）	66	総合問題対策66（初級）
	22	総合問題対策22（初級）	67	総合問題対策67（初級）
	23	総合問題対策23（初級）	68	総合問題対策68（初級）
	24	総合問題対策24（初級）	69	総合問題対策69（初級）
	25	総合問題対策25（初級）	70	総合問題対策70（初級）
	26	総合問題対策26（初級）	71	総合問題演習1（初級：計算）
	27	総合問題対策27（初級）	72	総合問題演習1（初級：理論）
	28	総合問題対策28（初級）	73	総合問題演習2（初級：計算）
	29	総合問題対策29（初級）	74	総合問題演習2（初級：理論）
	30	総合問題対策30（初級）	75	総合問題演習3（初級：計算）
	31	総合問題対策31（初級）	76	総合問題演習3（初級：理論）
	32	総合問題対策32（初級）	77	総合問題演習4（初級：計算）
	33	総合問題対策33（初級）	78	総合問題演習4（初級：理論）
	34	総合問題対策34（初級）	79	総合問題演習5（初級：計算）
	35	総合問題対策35（初級）	80	総合問題演習5（初級：理論）
	36	総合問題対策36（初級）	81	総合問題演習6（初級：計算）
	37	総合問題対策37（初級）	82	総合問題演習6（初級：理論）
	38	総合問題対策38（初級）	83	総合問題演習7（初級：計算）
	39	総合問題対策39（初級）	84	総合問題演習7（初級：理論）
	40	総合問題対策40（初級）	85	総合問題演習8（初級：計算）
	41	総合問題対策41（初級）	86	総合問題演習8（初級：理論）
	42	総合問題対策42（初級）	87	総合問題演習9（初級：計算）
	43	総合問題対策43（初級）	88	総合問題演習9（初級：理論）
	44	総合問題対策44（初級）	89	総合問題演習10（初級：計算）
	45	総合問題対策45（初級）	90	総合問題演習10（初級：理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習（初級：理論）で実施したテストのうち5回分の平均点100％			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①(入門編) 2 税効果会計Ⅰ②(入門編) 3 税効果会計Ⅰ③(入門編) 4 現在価値計算Ⅰ①(入門編) 5 現在価値計算Ⅰ②(入門編) 6 保険金Ⅰ①(入門編) 7 保険金Ⅰ②(入門編) 8 新株予約権付社債Ⅰ①(入門編) 9 新株予約権付社債Ⅰ②(入門編) 10 減損会計Ⅰ①(入門編) 11 減損会計Ⅰ②(入門編) 12 資産除去債務Ⅰ①(入門編) 13 資産除去債務Ⅰ②(入門編) 14 外貨建会計Ⅰ①(入門編) 15 外貨建会計Ⅰ②(入門編) 16 外貨建会計Ⅰ③(入門編) 17 リース会計Ⅰ①(入門編) 18 リース会計Ⅰ②(入門編) 19 試用販売Ⅰ①(入門編) 20 試用販売Ⅰ②(入門編) 21 試用販売Ⅰ③(入門編) 22 割賦販売Ⅰ①(入門編) 23 割賦販売Ⅰ②(入門編) 24 割賦販売Ⅰ③(入門編) 25 未着品販売Ⅰ①(入門編) 26 未着品販売Ⅰ②(入門編) 27 未着品販売Ⅰ③(入門編) 28 委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編) 29 委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編) 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎） 3 分配可能額①（入門・基礎） 4 分配可能額②（入門・基礎） 5 ストック・オプション①（入門・基礎） 6 ストック・オプション②（入門・基礎） 7 セール＆リースバック①（入門・基礎） 8 セール＆リースバック②（入門・基礎） 9 財務諸表等規則①（入門・基礎） 10 財務諸表等規則②（入門・基礎） 11 負債①（入門・基礎） 12 負債②（入門・基礎） 13 負債③（入門・基礎） 14 純資産会計①（入門・基礎） 15 純資産会計②（入門・基礎） 16 純資産会計③（入門・基礎） 17 企業結合会計①（入門・基礎） 18 企業結合会計②（入門・基礎） 19 企業結合会計③（入門・基礎） 20 事業分離会計①（入門・基礎） 21 事業分離会計②（入門・基礎） 22 事業分離会計③（入門・基礎） 23 四半期財務諸表①（入門・基礎） 24 四半期財務諸表②（入門・基礎） 25 ヘッジ会計①（入門・基礎） 26 ヘッジ会計②（入門・基礎） 27 包括利益①（入門・基礎） 28 包括利益②（入門・基礎） 29 包括利益③（入門・基礎） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ①(入門編)	46	純資産会計Ⅱ②(入門編)
2	本支店会計Ⅰ②(入門編)	47	有価証券Ⅱ①(入門編)
3	本支店会計Ⅰ③(入門編)	48	有価証券Ⅱ②(入門編)
4	本支店会計Ⅰ④(入門編)	49	外貨建会計Ⅱ①(入門編)
5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)	50	外貨建会計Ⅱ②(入門編)
6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)	51	リース会計Ⅱ①(入門編)
7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)	52	リース会計Ⅱ②(入門編)
8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)	53	試用販売Ⅱ①(入門編)
9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)	54	試用販売Ⅱ②(入門編)
10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)	55	割賦販売Ⅱ①(入門編)
11	建設業会計Ⅰ①(入門編)	56	割賦販売Ⅱ②(入門編)
12	建設業会計Ⅰ②(入門編)	57	未着品販売Ⅱ①(入門編)
13	連結会計Ⅰ①(入門編)	58	未着品販売Ⅱ②(入門編)
14	連結会計Ⅰ②(入門編)	59	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)
15	連結会計Ⅰ③(入門編)	60	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)
16	連結会計Ⅰ④(入門編)	61	本支店会計Ⅱ①(入門編)
17	製造業会計Ⅰ①(入門編)	62	本支店会計Ⅱ②(入門編)
18	製造業会計Ⅰ②(入門編)	63	組織再編会計Ⅱ①(入門編)
19	製造業会計Ⅰ③(入門編)	64	組織再編会計Ⅱ②(入門編)
20	製造業会計Ⅰ④(入門編)	65	連結会計Ⅱ①(入門編)
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)	66	連結会計Ⅱ②(入門編)
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)	69	項目別答練①(入門編)
25	繰延資産Ⅰ①(入門編)	70	項目別答練②(入門編)
26	繰延資産Ⅰ②(入門編)	71	項目別答練③(入門編)
27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)	72	項目別答練④(入門編)
28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)	73	項目別答練⑤(入門編)
29	ストック・オプションⅠ①(入門編)	74	項目別答練⑥(入門編)
30	ストック・オプションⅠ②(入門編)	75	基礎答練①(入門編)
31	現金預金Ⅱ①(入門編)	76	基礎答練②(入門編)
32	債権債務Ⅱ①(入門編)	77	基礎答練③(入門編)
33	商品売買Ⅱ①(入門編)	78	応用答練①(入門編)
34	商品売買Ⅱ②(入門編)	79	応用答練②(入門編)
35	商品売買Ⅱ③(入門編)	80	応用答練③(入門編)
36	固定資産Ⅱ①(入門編)	81	過去問演習①(入門編)
37	固定資産Ⅱ②(入門編)	82	過去問演習②(入門編)
38	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	83	過去問演習③(入門編)
39	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	84	過去問演習④(入門編)
40	債権債務Ⅱ①(入門編)	85	過去問演習⑤(入門編)
41	債権債務Ⅱ②(入門編)	86	問題演習実践①(入門編)
42	税金Ⅱ①(入門編)	87	問題演習実践②(入門編)
43	社債Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践③(入門編)
44	社債Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践④(入門編)
45	純資産会計Ⅱ①(入門編)	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 2 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 3 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 4 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 5 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 6 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 7 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 8 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 11 財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎） 12 財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎） 13 財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎） 14 財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎） 15 財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎） 16 財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎） 17 財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎） 18 財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎） 19 財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎） 20 財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎） 21 財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎） 22 財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎） 23 財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎） 24 財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎） 25 財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎） 26 財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎） 27 財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎） 28 財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎） 29 財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎） 30 財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎） 31 財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎） 32 財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎） 33 財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎） 34 財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎） 35 財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎） 36 財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎） 37 財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎） 38 財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎） 39 財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎） 40 財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎） 41 総合問題対策①（入門・基礎） 42 総合問題対策①（入門・基礎） 43 総合問題対策②（入門・基礎） 44 総合問題対策②（入門・基礎） 45 総合問題対策③（入門・基礎） 46 総合問題対策③（入門・基礎） 47 総合問題対策④（入門・基礎） 48 総合問題対策④（入門・基礎） 49 総合問題対策⑤（入門・基礎） 50 総合問題対策⑤（入門・基礎） 51 総合問題対策⑥（入門・基礎） 52 総合問題対策⑥（入門・基礎） 53 総合問題対策⑦（入門・基礎） 54 総合問題対策⑦（入門・基礎） 55 総合問題対策⑧（入門・基礎） 56 総合問題対策⑧（入門・基礎） 57 総合問題対策⑨（入門・基礎） 58 総合問題対策⑨（入門・基礎） 59 総合問題対策⑩（入門・基礎） 60 総合問題対策⑩（入門・基礎） 61 総合問題対策⑪（入門・基礎） 62 総合問題対策⑪（入門・基礎） 63 総合問題対策⑫（入門・基礎） 64 総合問題対策⑫（入門・基礎） 65 総合問題対策⑬（入門・基礎） 66 総合問題対策⑬（入門・基礎） 67 総合問題対策⑭（入門・基礎） 68 総合問題対策⑭（入門・基礎） 69 総合問題対策⑮（入門・基礎） 70 総合問題対策⑮（入門・基礎） 71 総合問題対策⑯（入門・基礎） 72 総合問題対策⑯（入門・基礎） 73 総合問題対策⑰（入門・基礎） 74 総合問題対策⑰（入門・基礎） 75 総合問題対策⑱（入門・基礎） 76 総合問題対策⑱（入門・基礎） 77 総合問題対策⑲（入門・基礎） 78 総合問題対策⑲（入門・基礎） 79 総合問題対策⑳（入門・基礎） 80 総合問題対策⑳（入門・基礎） 81 総合問題対策㉑（入門・基礎） 82 総合問題対策㉑（入門・基礎） 83 総合問題対策㉒（入門・基礎） 84 総合問題対策㉒（入門・基礎） 85 総合問題対策㉓（入門・基礎） 86 総合問題対策㉓（入門・基礎） 87 総合問題対策㉔（入門・基礎） 88 総合問題対策㉔（入門・基礎） 89 模擬試験(計算) 90 模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択E			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間			
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ②（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ③（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	5	確認テスト	35	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	6	現金預金Ⅰ①（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	7	現金預金Ⅰ②（入門編）	37	確認テスト
	8	現金預金Ⅰ③（入門編）	38	税金Ⅰ①（入門編）
	9	確認テスト	39	税金Ⅰ②（入門編）
	10	債権債務Ⅰ①（入門編）	40	確認テスト
	11	債権債務Ⅰ②（入門編）	41	社債Ⅰ①（入門編）
	12	商品売買Ⅰ①（入門編）	42	社債Ⅰ②（入門編）
	13	商品売買Ⅰ②（入門編）	43	社債Ⅰ③（入門編）
	14	商品売買Ⅰ③（入門編）	44	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	15	確認テスト	45	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	16	給料等Ⅰ①（入門編）	46	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	17	給料等Ⅰ②（入門編）	47	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	18	固定資産Ⅰ①（入門編）	48	確認テスト
	19	固定資産Ⅰ②（入門編）	49	有価証券Ⅰ①（入門編）
	20	固定資産Ⅰ③（入門編）	50	有価証券Ⅰ②（入門編）
	21	固定資産Ⅰ④（入門編）	51	有価証券Ⅰ③（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	52	有価証券Ⅰ④（入門編）
	23	確認テスト	53	項目別答練
	24	ソフトウェアⅠ①（入門編）	54	項目別答練
	25	ソフトウェアⅠ②（入門編）	55	項目別答練
	26	債権債務Ⅰ①（入門編）	56	項目別答練
	27	債権債務Ⅰ②（入門編）	57	項目別答練
	28	債権債務Ⅰ③（入門編）	58	項目別答練
	29	確認テスト	59	項目別答練
	30	貸倒れⅠ①（入門編）	60	項目別答練
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト及び項目別答練の得点100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択E			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間（４単位）			
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(入門編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(入門編)
	2	税効果会計Ⅰ②(入門編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(入門編)
	3	税効果会計Ⅰ③(入門編)	33	リース会計Ⅰ①(入門編)
	4	税効果会計Ⅰ④(入門編)	34	リース会計Ⅰ②(入門編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(入門編)	35	リース会計Ⅰ③(入門編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(入門編)	36	リース会計Ⅰ④(入門編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(入門編)	37	リース会計Ⅰ⑤(入門編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(入門編)	38	リース会計Ⅰ⑥(入門編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(入門編)	39	試用販売Ⅰ①(入門編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(入門編)	40	試用販売Ⅰ②(入門編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(入門編)	41	試用販売Ⅰ③(入門編)
	12	保険金Ⅰ①(入門編)	42	試用販売Ⅰ④(入門編)
	13	保険金Ⅰ②(入門編)	43	試用販売Ⅰ⑤(入門編)
	14	保険金Ⅰ③(入門編)	44	試用販売Ⅰ⑥(入門編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)	45	割賦販売Ⅰ①(入門編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)	46	割賦販売Ⅰ②(入門編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(入門編)	47	割賦販売Ⅰ③(入門編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(入門編)	48	割賦販売Ⅰ④(入門編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(入門編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(入門編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(入門編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(入門編)
	21	減損会計Ⅰ①(入門編)	51	未着品販売Ⅰ①(入門編)
	22	減損会計Ⅰ②(入門編)	52	未着品販売Ⅰ②(入門編)
	23	減損会計Ⅰ③(入門編)	53	未着品販売Ⅰ③(入門編)
	24	減損会計Ⅰ④(入門編)	54	未着品販売Ⅰ④(入門編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(入門編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(入門編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(入門編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(入門編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(入門編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(入門編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(入門編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(入門編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(入門編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
16	応用答練①（入門編）	46～50	過去問①
17	応用答練②（入門編）	51～55	過去問②
18	応用答練③（入門編）	56～60	過去問③
19	応用答練④（入門編）		
20	応用答練⑤（入門編）		
21	応用答練⑥（入門編）		
22	応用答練⑦（入門編）		
23	応用答練⑧（入門編）		
24	応用答練⑨（入門編）		
25	応用答練⑩（入門編）		
26	過去問演習①（入門編）		
27	過去問演習②（入門編）		
28	過去問演習③（入門編）		
29	過去問演習④（入門編）		
30	過去問演習⑤（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
16	応用答練①（入門編）	46～50	過去問①
17	応用答練②（入門編）	51～55	過去問②
18	応用答練③（入門編）	56～60	過去問③
19	応用答練④（入門編）		
20	応用答練⑤（入門編）		
21	応用答練⑥（入門編）		
22	応用答練⑦（入門編）		
23	応用答練⑧（入門編）		
24	応用答練⑨（入門編）		
25	応用答練⑩（入門編）		
26	過去問演習①（入門編）		
27	過去問演習②（入門編）		
28	過去問演習③（入門編）		
29	過去問演習④（入門編）		
30	過去問演習⑤（入門編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論 2 簿記一巡の手続、財務諸表 3 現金預金、銀行勘定調整表 4 債権・債務 5 棚卸資産 6 有価証券①（有価証券の分類） 7 有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券） 8 有価証券③（子会社株式、関連会社株式） 9 有価証券④（その他有価証券、端数利息） 10 固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定） 11 固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費） 12 固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳） 13 固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失） 14 固定資産⑤（リース会計、無形固定資産） 15 固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産） 16 債務保証 17 引当金①（貸倒引当金） 18 引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理） 19 引当金③（その他の引当金） 20 収益と費用 21 為替換算会計①（外貨建取引） 22 為替換算会計②（為替予約） 23 株式会社の純資産①（意義、純資産） 24 株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等） 25 株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動） 26 企業結合 27 税金①（消費税） 28 税金②（法人税等） 29 税金③（税効果会計） 30 帳簿組織 31 伝票会計 32 決算①（決算整理、帳簿決算手続き） 33 決算②（財務諸表、精算表） 34 製造業を営む会社の決算処理 35 本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引） 36 本支店会計②（決算） 37 連結会計①（財務諸表） 38 連結会計②（支配獲得日の連結手続き） 39 連結会計③（支配獲得後の連結手続き） 40 連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去） 41 連結会計⑤（未実現利益の控除） 42 連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書） 43 連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度） 44 確認テスト（第1回） 45 確認テスト（第2回） 46～50 過去問① 51～60 過去問②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級会計学総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産、社債 10 引当金 11 退職給付 12 資産除去債務、純資産 13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 商品売買等 17 工事契約 18 本支店会計 19 連結財務諸表総論 20 資本連結 21 成果連結 22 持分法 23 連結税効果会計 24 包括利益 25 在外子会社 26 企業結合 27 事業分離 28 キャッシュフロー計算書 29 連結キャッシュフロー計算書 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系①（個別原価計算） 3 工業簿記の記帳体系②（決算） 4 材料費会計①（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗） 5 材料費会計②（予定消費価格による材料費の計算と記帳） 6 労務費会計①（支払額の計算と記帳） 7 労務費会計②（消費額の計算と記帳） 8 労務費会計③（予定消費賃率による消費額の計算と記帳） 9 経費会計 10 製造間接費会計①（実際配賦と予定配賦） 11 製造間接費会計②（差異の原因別分析） 12 単純個別原価計算①（単純個別原価計算） 13 単純個別原価計算②（仕損の処理） 14 部門別計算①（部門別計算の手続きと記帳体系） 15 部門別計算②（部門個別費と部門共通費） 16 部門別計算③（補助部門費の配賦①） 17 部門別計算④（補助部門費の配賦②） 18 部門別計算⑤（仕掛品の計算） 19 部門別計算⑥（差異の原因別分析） 20 工企業の財務諸表①（製造原価報告書） 21 工企業の財務諸表②（損益計算書、貸借対照表） 22 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） 23 総合原価計算①（単純総合原価計算） 24 総合原価計算②（月末仕掛品原価の評価） 25 総合原価計算③（材料の投入形態） 26 総合原価計算④（損益計算書の作成） 27 総合原価計算⑤（減損の処理） 28 総合原価計算⑥（仕損の処理） 29 工程別総合原価計算①（月末仕掛品原価の計算） 30 工程別総合原価計算②（半製品の処理） 31 組別総合原価計算 32 等級別総合原価計算①（完成品総合原価に等価係数を用いる方法） 33 等級別総合原価計算②（当月製造費用に等価係数を用いる方法） 34 標準原価計算①（月末仕掛品および完成品原価の計算） 35 標準原価計算②（原価差異の計算） 36 標準原価計算③（仕掛品勘定の記帳方法） 37 標準原価計算④（直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析） 38 標準原価計算⑤（製造間接費差異の原因別分析①） 39 標準原価計算⑥（製造間接費差異の原因別分析②） 40 原価・営業量・利益関係の分析 41 直接原価計算①（直接原価計算） 42 直接原価計算②（固定費調整） 43 工場会計の独立 44 確認テスト（第1回） 45 確認テスト（第2回） 46～50 過去問① 51～60 過去問②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算① 3 費目別計算② 4 部門別計算① 5 部門別計算② 6 個別原価計算① 7 個別原価計算② 8 総合原価計算① 9 総合原価計算② 10 総合原価計算③ 11 標準原価計算① 12 標準原価計算② 13 標準原価計算③ 14 標準原価計算④ 15 標準原価計算⑤ 16 直接原価計算 17 短期利益計画 18 予算管理① 19 予算管理② 20 意思決定会計① 21 意思決定会計② 22 意思決定会計③ 23 意思決定会計④ 24 意思決定会計⑤ 25 意思決定会計⑥ 26 意思決定会計⑦ 27 意思決定会計⑧ 28 戦略的原価計算① 29 戦略的原価計算② 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1.2	財務諸表
	3.4	有価証券
	5.6	デリバティブ取引・ヘッジ会計
	7.8	有形固定資産
	9.10	割引現在価値
	11.12	リース取引
	13.14	固定資産の減損
	15.16	研究開発費とソフトウェア
	17.18	繰延資産、社債
	19.2	引当金
	21.22	退職給付
	23.24	資産除去債務、純資産
	25.26	新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション
	27.28	税効果会計
	29.30	外貨建取引
	31.32	商品売買等
	33.34	工事契約
	35.36	本支店会計
	37.38	連結財務諸表総論
	39.40	資本連結
	41.42	成果連結
	43.44	持分法
	45.46	連結税効果会計
	47.48	包括利益
	49.50	在外子会社
	51.52	企業結合
	53.54	事業分離
	55～57	キャッシュフロー計算書
	58.59	連結キャッシュフロー計算書
	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算① 3 費目別計算② 4 部門別計算① 5 部門別計算② 6 個別原価計算① 7 個別原価計算② 8 総合原価計算① 9 総合原価計算② 10 総合原価計算③ 11 標準原価計算① 12 標準原価計算② 13 標準原価計算③ 14 標準原価計算④ 15 標準原価計算⑤ 16 直接原価計算 17 短期利益計画 18 予算管理① 19 予算管理② 20 意思決定会計① 21 意思決定会計② 22 意思決定会計③ 23 意思決定会計④ 24 意思決定会計⑤ 25 意思決定会計⑥ 26 意思決定会計⑦ 27 意思決定会計⑧ 28 戦略的原価計算① 29 戦略的原価計算② 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税務会計科			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択E			
授業方法	演習			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策①（初級編）	31	総合問題対策㉛（初級編）
	2	総合問題対策②（初級編）	32	総合問題対策㉜（初級編）
	3	総合問題対策③（初級編）	33	総合問題対策㉝（初級編）
	4	総合問題対策④（初級編）	34	総合問題対策㉞（初級編）
	5	総合問題対策⑤（初級編）	35	総合問題対策㉟（初級編）
	6	総合問題対策⑥（初級編）	36	総合問題演習①（初級編）
	7	総合問題対策⑦（初級編）	37	総合問題演習①（初級編）
	8	総合問題対策⑧（初級編）	38	総合問題演習②（初級編）
	9	総合問題対策⑨（初級編）	39	総合問題演習②（初級編）
	10	総合問題対策⑩（初級編）	40	総合問題演習③（初級編）
	11	総合問題対策⑪（初級編）	41	総合問題演習③（初級編）
	12	総合問題対策⑫（初級編）	42	総合問題演習④（初級編）
	13	総合問題対策⑬（初級編）	43	総合問題演習④（初級編）
	14	総合問題対策⑭（初級編）	44	総合問題演習⑤（初級編）
	15	総合問題対策⑮（初級編）	45	総合問題演習⑤（初級編）
	16	総合問題対策⑯（初級編）		
	17	総合問題対策⑰（初級編）		
	18	総合問題対策⑱（初級編）		
	19	総合問題対策⑲（初級編）		
	20	総合問題対策⑳（初級編）		
	21	総合問題対策㉑（初級編）		
	22	総合問題対策㉒（初級編）		
	23	総合問題対策㉓（初級編）		
	24	総合問題対策㉔（初級編）		
	25	総合問題対策㉕（初級編）		
	26	総合問題対策㉖（初級編）		
	27	総合問題対策㉗（初級編）		
	28	総合問題対策㉘（初級編）		
	29	総合問題対策㉙（初級編）		
	30	総合問題対策㉚（初級編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の理論　５回分の平均点100％			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（初級） 2 交付要求及び督促時効（初級） 3 参加差押え（初級） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級） 5 換価配当（初級） 6 担保のための仮登記（初級） 7 物上代位権との調整（初級） 8 納期限未到来の納税の猶予（初級） 9 災害等による一般の納税の猶予（初級） 10 換価の猶予（初級） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（初級） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級） 15 国税の担保（初級） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級） 17 保全措置（初級） 18 滞納処分の停止（初級） 19 納付委託・弁済委託（初級） 20 第二次納税義務（通則）（初級） 21 第二次納税義務（人的限度）（初級） 22 第二次納税義務（物的限度）（初級） 23 不服申立（初級） 24 滞納処分費（初級） 25 納付義務の承継（初級） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（初級） 27 増額登記（初級） 28 質権の証明と優先権行使の否認（初級） 29 国税徴収法第26条準用（初級） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（初級） 31 総合理論対策1（初級） 32 総合理論対策2（初級） 33 総合理論対策3（初級） 34 総合理論対策4（初級） 35 総合理論対策5（初級） 36 総合理論対策6（初級） 37 総合理論対策7（初級） 38 総合理論対策8（初級） 39 総合理論対策9（初級） 40 総合問題演習1（初級） 41 総合問題演習1（初級） 42 総合問題演習2（初級） 43 総合問題演習2（初級） 44 総合問題演習3（初級） 45 総合問題演習3（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的（中級） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級） 3 強制換価手続（中級） 4 担保の種類（中級） 5 滞納処分の概要（中級） 6 国税に優先する権利（中級） 7 国税相互間の優先関係（中級） 8 財産の調査（中級） 9 最優先される被担保債権（中級） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級） 12 不動産賃貸の先取特権等（中級） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（中級） 14 譲受前にある担保権（中級） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級） 16 差押の制限等、解除（中級） 17 差押の共通手続（中級） 18 第三者からの差押換え（中級） 19 差押換え（換価申立ての細部）（中級） 20 相続人からの差押換え（中級） 21 動産又は有価証券の差押え（中級） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（中級） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級） 24 国税徴収法第26条の計算（中級） 25 債権の差押え（中級） 26 不動産等の差押え（中級） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級） 30 確認テスト（中級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用） 2 交付要求及び督促時効（応用） 3 参加差押え（応用） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用） 5 換価配当（応用） 6 担保のための仮登記（応用） 7 物上代位権との調整（応用） 8 納期限未到来の納税の猶予（応用） 9 災害等による一般の納税の猶予（応用） 10 換価の猶予（応用） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（応用） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用） 15 国税の担保（応用） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用） 17 保全措置（応用） 18 滞納処分の停止（応用） 19 納付委託・弁済委託（応用） 20 第二次納税義務（通則）（応用） 21 第二次納税義務（人的限度）（応用） 22 第二次納税義務（物的限度）（応用） 23 不服申立（応用） 24 滞納処分費（応用） 25 納付義務の承継（応用） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（応用） 27 増額登記（応用） 28 質権の証明と優先権行使の否認（応用） 29 国税徴収法第26条準用（応用） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用） 31 総合理論対策1（応用） 32 総合理論対策2（応用） 33 総合理論対策3（応用） 34 総合理論対策4（応用） 35 総合理論対策5（応用） 36 総合理論対策6（応用） 37 総合理論対策7（応用） 38 総合理論対策8（応用） 39 総合理論対策9（応用） 40 総合問題演習1（応用） 41 総合問題演習1（応用） 42 総合問題演習2（応用） 43 総合問題演習2（応用） 44 総合問題演習3（応用） 45 総合問題演習3（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	全経簿記上級総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編）	31	総合問題対策①（全経速習編）
2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編）	32	総合問題対策②（全経速習編）
3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編）	33	総合問題対策③（全経速習編）
4	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編）	34	総合問題対策④（全経速習編）
5	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編）	35	総合問題対策⑤（全経速習編）
6	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編）	36	総合問題対策⑥（全経速習編）
7	商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編）	37	総合問題対策⑦（全経速習編）
8	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経速習編）	38	総合問題対策⑧（全経速習編）
9	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経速習編）	39	総合問題対策⑨（全経速習編）
10	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編）	40	総合問題対策⑩（全経速習編）
11	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編）	41	総合問題対策⑪（全経速習編）
12	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経速習編）	42	総合問題対策⑫（全経速習編）
13	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経速習編）	43	総合問題対策⑬（全経速習編）
14	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経速習編）	44	総合問題対策⑭（全経速習編）
15	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経速習編）	45	総合問題対策⑮（全経速習編）
16	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
17	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経速習編）	47	総合問題演習①（テスト形式）
18	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経速習編）	48	総合問題演習①（テスト形式）
19	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経速習編）	49	総合問題演習②（テスト形式）
20	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経速習編）	50	総合問題演習②（テスト形式）
21	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経速習編）	51	総合問題演習②（テスト形式）
22	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経速習編）	52	総合問題演習③（テスト形式）
23	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経速習編）	53	総合問題演習③（テスト形式）
24	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経速習編）	54	総合問題演習③（テスト形式）
25	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経速習編）	55	総合問題演習④（テスト形式）
26	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経速習編）	56	総合問題演習④（テスト形式）
27	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経速習編）	57	総合問題演習④（テスト形式）
28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経速習編）	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経速習編）	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経速習編）	60	総合問題演習⑤（テスト形式）

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（応用編） 2 商業簿記総まとめ②（応用編） 3 商業簿記総まとめ③（応用編） 4 商業簿記総まとめ④（応用編） 5 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 6 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 7 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 8 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 9 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 10 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 11 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 12 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ①（応用編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ②（応用編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ③（応用編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ④（応用編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（応用編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（応用編） 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_応用編） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_応用編） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_応用編） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_応用編） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_応用編） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_応用編） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_応用編） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_応用編） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_応用編） 28 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 29 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 30 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 31 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 32 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 33 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 34 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 35 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 36 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 37 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 38 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 39 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 46～50 過去問① 51～60 過去問②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①(基礎編) 2 簿記の概要Ⅰ②(基礎編) 3 簿記の概要Ⅰ③(基礎編) 4 簿記の概要Ⅰ④(基礎編) 5 現金預金Ⅰ①(基礎編) 6 現金預金Ⅰ②(基礎編) 7 現金預金Ⅰ③(基礎編) 8 債権債務Ⅰ①(基礎編) 9 債権債務Ⅰ②(基礎編) 10 商品売買Ⅰ①(基礎編) 11 商品売買Ⅰ②(基礎編) 12 商品売買Ⅰ③(基礎編) 13 給料等Ⅰ①(基礎編) 14 給料等Ⅰ②(基礎編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎） 2 個別注記表（基礎） 3 現金及び預金（基礎） 4 債権債務（基礎） 5 関係会社概念（基礎） 6 売上原価の算定（基礎） 7 貸倒れ（基礎） 8 給料等（基礎） 9 その他の引当金（基礎） 10 退職給付会計（基礎） 11 有形固定資産（基礎） 12 無形固定資産（基礎） 13 株主資本（基礎） 14 財務諸表論の基礎概念（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％（理論）　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（初級編） 3 課税の対象②（初級編） 4 課税の対象③（初級編） 5 課税の対象④（初級編） 6 非課税①（初級編） 7 非課税②（初級編） 8 非課税③（初級編） 9 非課税④（初級編） 10 輸出免税等①（初級編） 11 輸出免税等②（初級編） 12 輸出免税等③（初級編） 13 輸出免税等④（初級編） 14 資産の譲渡等の時期（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（基礎） 3 相続税法と民法（基礎） 4 相続人、代襲相続（基礎） 5 養子の子の取扱い（基礎） 6 相続の承認と放棄（基礎） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎） 8 遺言による財産の取得（基礎） 9 相続税の納税義務者（基礎） 10 生命保険金等（基礎） 11 相続税の非課税財産（基礎） 12 相続税額の計算方法（基礎） 13 生命保険金等の非課税金額（基礎） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（中級） 2 納税義務者（中級） 3 課税所得の範囲（中級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（中級） 5 減価償却Ⅰ（中級） 6 減価償却Ⅱ（中級） 7 減価償却Ⅲ（中級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（中級） 10 租税公課等（中級） 11 納税充当金Ⅰ（中級） 12 納税充当金Ⅱ（中級） 13 別表四の作成（中級） 14 事業年度（中級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（初級編） 3 課税の対象②（初級編） 4 非課税①（初級編） 5 非課税②（初級編） 6 輸出免税等①（初級編） 7 輸出免税等②（初級編） 8 資産の譲渡等の時期（初級編） 9 控除対象仕入税額①（初級編） 10 控除対象仕入税額②（初級編） 11 売上げに係る対価の返還等（初級編） 12 貸倒れが生じた場合（初級編） 13 課税仕入れの範囲①（初級編） 14 課税仕入れの範囲②（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①(基礎編) 2 税効果会計Ⅰ②(基礎編) 3 税効果会計Ⅰ③(基礎編) 4 税効果会計Ⅰ④(基礎編) 5 税効果会計Ⅰ⑤(基礎編) 6 税効果会計Ⅰ⑥(基礎編) 7 税効果会計Ⅰ⑦(基礎編) 8 税効果会計Ⅰ⑧(基礎編) 9 現在価値計算Ⅰ①(基礎編) 10 現在価値計算Ⅰ②(基礎編) 11 現在価値計算Ⅰ③(基礎編) 12 保険金Ⅰ①(基礎編) 13 保険金Ⅰ②(基礎編) 14 保険金Ⅰ③(基礎編) 15 新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編) 16 新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編) 17 新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編) 18 新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編) 19 新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編) 20 新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編) 21 減損会計Ⅰ①(基礎編) 22 減損会計Ⅰ②(基礎編) 23 減損会計Ⅰ③(基礎編) 24 減損会計Ⅰ④(基礎編) 25 資産除去債務Ⅰ①(基礎編) 26 資産除去債務Ⅰ②(基礎編) 27 外貨建会計Ⅰ①(基礎編) 28 外貨建会計Ⅰ②(基礎編) 29 外貨建会計Ⅰ③(基礎編) 30 外貨建会計Ⅰ④(基礎編) 31 外貨建会計Ⅰ⑤(基礎編) 32 外貨建会計Ⅰ⑥(基礎編) 33 リース会計Ⅰ①(基礎編) 34 リース会計Ⅰ②(基礎編) 35 リース会計Ⅰ③(基礎編) 36 リース会計Ⅰ④(基礎編) 37 リース会計Ⅰ⑤(基礎編) 38 リース会計Ⅰ⑥(基礎編) 39 試用販売Ⅰ①(基礎編) 40 試用販売Ⅰ②(基礎編) 41 試用販売Ⅰ③(基礎編) 42 試用販売Ⅰ④(基礎編) 43 試用販売Ⅰ⑤(基礎編) 44 試用販売Ⅰ⑥(基礎編) 45 割賦販売Ⅰ①(基礎編) 46 割賦販売Ⅰ②(基礎編) 47 割賦販売Ⅰ③(基礎編) 48 割賦販売Ⅰ④(基礎編) 49 割賦販売Ⅰ⑤(基礎編) 50 割賦販売Ⅰ⑥(基礎編) 51 未着品販売Ⅰ①(基礎編) 52 未着品販売Ⅰ②(基礎編) 53 未着品販売Ⅰ③(基礎編) 54 未着品販売Ⅰ④(基礎編) 55 委託販売･受託販売Ⅰ①(基礎編) 56 委託販売･受託販売Ⅰ②(基礎編) 57 委託販売･受託販売Ⅰ③(基礎編) 58 委託販売･受託販売Ⅰ④(基礎編) 59 委託販売･受託販売Ⅰ⑤(基礎編) 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券（基礎） 2 満期保有目的の債券（基礎） 3 子会社株式・関連会社株式（基礎） 4 その他有価証券（基礎） 5 ソフトウェア（基礎） 6 法人税等・追徴還付（基礎） 7 現在価値計算（基礎） 8 社債（基礎） 9 利益剰余金（基礎） 10 自己株式（基礎） 11 配当（基礎） 12 外形基準、租税公課（基礎） 13 源泉所得税、社会保険料（基礎） 14 税効果会計（基礎） 15 税効果注記（基礎） 16 源泉所得税、社会保険料（基礎） 17 株主資本等変動計算書（基礎） 18 減損会計（基礎） 19 配当を受けた株主の処理（基礎） 20 圧縮記帳（基礎） 21 外貨建取引（基礎） 22 退職給付会計簡便法（基礎） 23 繰延資産（基礎） 24 為替予約（基礎） 25 仕入・売上げの計上基準（基礎） 26 消費税等（基礎） 27 他勘定振替（基礎） 28 外貨建有価証券（基礎） 29 リース会計（基礎） 30 証券投資信託（基礎） 31 ゴルフ会員権（基礎） 32 売価還元法（基礎） 33 製造業会計（基礎） 34 研究開発費（基礎） 35 新株予約権（基礎） 36 キャッシュ・フロー計算書（基礎） 37 損益計算書総論（基礎） 38 貸借対照表総論（基礎） 39 資産総論（基礎） 40 棚卸資産に関する会計基準（基礎） 41 連続意見書（基礎） 42 引当金（基礎） 43 会計観（基礎） 44 金融商品（基礎） 45 純資産会計①（基礎） 46 純資産会計②（基礎） 47 純資産会計③（基礎） 48 純資産会計④（基礎） 49 純資産会計⑤（基礎） 50 企業結合会計①（基礎） 51 企業結合会計②（基礎） 52 企業結合会計③（基礎） 53 企業結合会計④（基礎） 54 企業結合会計⑤（基礎） 55 事業分離会計①（基礎） 56 事業分離会計②（基礎） 57 事業分離会計③（基礎） 58 事業分離会計④（基礎） 59 事業分離会計⑤（基礎） 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額①（初級編）	31	納税義務の免除①（初級編）
2	控除対象仕入税額②（初級編）	32	納税義務の免除②（初級編）
3	控除対象仕入税額③（初級編）	33	納税義務の免除③（初級編）
4	控除対象仕入税額④（初級編）	34	納税義務の免除④（初級編）
5	控除対象仕入税額⑤（初級編）	35	納税義務の免除⑤（初級編）
6	控除対象仕入税額⑥（初級編）	36	国境を越えた役務の提供①（初級編）
7	売上げに係る対価の返還等①（初級編）	37	国境を越えた役務の提供②（初級編）
8	売上げに係る対価の返還等②（初級編）	38	国境を越えた役務の提供③（初級編）
9	貸倒れが生じた場合①（初級編）	39	国境を越えた役務の提供④（初級編）
10	貸倒れが生じた場合②（初級編）	40	国境を越えた役務の提供⑤（初級編）
11	課税仕入れの範囲①（初級編）	41	中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
12	課税仕入れの範囲②（初級編）	42	中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
13	課税仕入れの範囲③（初級編）	43	課税仕入れ等の分類①（初級編）
14	課税仕入れの範囲④（初級編）	44	課税仕入れ等の分類②（初級編）
15	課税仕入れ等の時期①（初級編）	45	課税仕入れ等の分類③（初級編）
16	課税仕入れ等の時期②（初級編）	46	課税仕入れ等の分類④（初級編）
17	課税仕入れ等の時期③（初級編）	47	課税仕入れ等の分類⑤（初級編）
18	課税仕入れ等の時期④（初級編）	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編）
19	課税売上割合①（初級編）	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編）
20	課税売上割合②（初級編）	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編）
21	課税売上割合③（初級編）	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
22	課税売上割合④（初級編）	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
23	課税売上割合⑤（初級編）	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
24	課税売上割合⑥（初級編）	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
25	課税期間における課税売上高①（初級編）	55	納税義務の免除の特例①（初級編）
26	課税期間における課税売上高②（初級編）	56	納税義務の免除の特例②（初級編）
27	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）	57	納税義務の免除の特例③（初級編）
28	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）	58	納税義務の免除の特例④（初級編）
29	仕入れに係る対価の返還等①（初級編）	59	納税義務の免除の特例⑤（初級編）
30	仕入れに係る対価の返還等②（初級編）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
4	相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎）	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
10	特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎）	40	取引相場のない株式③（基礎）
11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎）	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　４回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33	みなし配当金Ⅰ（基礎）
4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34	みなし配当金Ⅱ（基礎）
5	欠損金Ⅰ（基礎）	35	資本等取引Ⅰ（基礎）
6	欠損金Ⅱ（基礎）	36	資本等取引Ⅱ（基礎）
7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37	交換差益Ⅰ（基礎）
8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38	交換差益Ⅱ（基礎）
9	有価証券Ⅰ（基礎）	39	交換差益Ⅲ（基礎）
10	有価証券Ⅱ（基礎）	40	別表五㈡Ⅰ（基礎）
11	収用等Ⅰ（基礎）	41	別表五㈡Ⅱ（基礎）
12	収用等Ⅱ（基礎）	42	別表五㈡Ⅲ（基礎）
13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43	別表五㈡Ⅳ（基礎）
14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44	リース取引Ⅰ（基礎）
15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45	リース取引Ⅱ（基礎）
16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46	リース取引Ⅲ（基礎）
17	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）	47	リース取引Ⅳ（基礎）
18	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）	48	繰延資産Ⅰ（基礎）
19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49	繰延資産Ⅱ（基礎）
20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50	繰延資産Ⅲ（基礎）
21	役員判定Ⅰ（基礎）	51	繰延資産Ⅳ（基礎）
22	役員判定Ⅱ（基礎）	52	確定決算型Ⅰ（基礎）
23	役員給与Ⅰ（基礎）	53	確定決算型Ⅱ（基礎）
24	役員給与Ⅱ（基礎）	54	確定決算型Ⅲ（基礎）
25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55	確定決算型Ⅳ（基礎）
26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56	グループ法人税制Ⅰ（基礎）
27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57	グループ法人税制Ⅱ（基礎）
28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58	資産の評価損益（基礎）
29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59	保険料（基礎）
30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60	確認テスト（理論）

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（初級編） 2 課税仕入れ等の時期②（初級編） 3 課税売上割合①（初級編） 4 課税売上割合②（初級編） 5 課税期間における課税売上高①（初級編） 6 課税期間における課税売上高②（初級編） 7 課税売上割合に準ずる割合①（初級編） 8 課税売上割合に準ずる割合②（初級編） 9 仕入れに係る対価の返還等（初級編） 10 納税義務の免除（初級編） 11 国境を越えた役務の提供①（初級編） 12 国境を越えた役務の提供②（初級編） 13 国境を越えた役務の提供③（初級編） 14 中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 固定資産Ⅰ①(基礎編) 2 固定資産Ⅰ②(基礎編) 3 ソフトウェアⅠ①(基礎編) 4 債権債務Ⅰ①(基礎編) 5 貸倒れⅠ①(基礎編) 6 退職給付会計Ⅰ①(基礎編) 7 退職給付会計Ⅰ②(基礎編) 8 税金Ⅰ①(基礎編) 9 社債Ⅰ①(基礎編) 10 社債Ⅰ②(基礎編) 11 純資産会計Ⅰ①(基礎編) 12 純資産会計Ⅰ②(基礎編) 13 有価証券Ⅰ①(基礎編) 14 有価証券Ⅰ②(基礎編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①(基礎) 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎) 3 会計上の変更及び誤謬の訂正③(基礎) 4 会計上の変更及び誤謬の訂正④(基礎) 5 会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(基礎) 6 分配可能額①(基礎) 7 分配可能額②(基礎) 8 分配可能額③(基礎) 9 分配可能額④(基礎) 10 分配可能額⑤(基礎) 11 ストック･オプション①(基礎) 12 ストック･オプション②(基礎) 13 ストック･オプション③(基礎) 14 ストック･オプション④(基礎) 15 ストック･オプション⑤(基礎) 16 セール＆リースバック①(基礎) 17 セール＆リースバック②(基礎) 18 セール＆リースバック③(基礎) 19 セール＆リースバック④(基礎) 20 セール＆リースバック⑤(基礎) 21 財務諸表等規則①(基礎) 22 財務諸表等規則②(基礎) 23 財務諸表等規則③(基礎) 24 財務諸表等規則④(基礎) 25 財務諸表等規則⑤(基礎) 26 負債①(基礎) 27 負債②(基礎) 28 負債③(基礎) 29 負債④(基礎) 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 2 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 3 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 4 課税標準①（初級編） 5 課税標準②（初級編） 6 課税標準③（初級編） 7 課税標準④（初級編） 8 簡易課税制度①（初級編） 9 簡易課税制度②（初級編） 10 簡易課税制度③（初級編） 11 簡易課税制度④（初級編） 12 簡易課税制度⑤（初級編） 13 簡易課税制度⑥（初級編） 14 簡易課税制度⑦（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎） 2 上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎） 3 宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎） 4 純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎） 5 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎） 6 立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎） 7 贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎） 8 負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎） 9 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 10 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎） 11 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 12 証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎） 13 不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎） 14 権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 貸倒損失 2 貸倒引当金 3 欠損金Ⅰ 4 欠損金Ⅱ 5 外貨建取引Ⅰ 6 有価証券Ⅰ 7 収用等Ⅰ 8 所得税額控除Ⅱ 9 国庫補助金等Ⅰ 10 別表五㈠の作成Ⅰ（基礎） 11 圧縮記帳Ⅰ 12 役員判定Ⅰ 13 役員給与Ⅰ 14 使用人給与Ⅰ 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類①（初級編） 2 課税仕入れ等の分類②（初級編） 3 課税仕入れ等の分類③（初級編） 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編） 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 7 納税義務の免除の特例①（初級編） 8 納税義務の免除の特例②（初級編） 9 納税義務の免除の特例③（初級編） 10 納税義務の免除の特例④（初級編） 11 納税義務の免除の特例⑤（初級編） 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（初級編） 15 課税標準①（初級編） 16 課税標準②（初級編） 17 簡易課税制度①（初級編） 18 簡易課税制度②（初級編） 19 簡易課税制度③（初級編） 20 簡易課税制度④（初級編） 21 軽減税率①（初級編） 22 軽減税率②（初級編） 23 旧税率に関する経過措置①（初級編） 24 旧税率に関する経過措置②（初級編） 25 複数税率の場合の計算①（初級編） 26 複数税率の場合の計算②（初級編） 27 国等に対する特例①（初級編） 28 国等に対する特例②（初級編） 29 特殊項目③（税抜経理方式）（初級編） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択E
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的（基礎） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（基礎） 3 強制換価手続（基礎） 4 担保の種類（基礎） 5 滞納処分の概要（基礎） 6 国税に優先する権利（基礎） 7 国税相互間の優先関係（基礎） 8 財産の調査（基礎） 9 最優先される被担保債権（基礎） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎） 12 不動産賃貸の先取特権等（基礎） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（基礎） 14 譲受前にある担保権（基礎） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎） 16 差押の制限等、解除（基礎） 17 差押の共通手続（基礎） 18 第三者からの差押換え（基礎） 19 差押換え（換価申立ての細部）（基礎） 20 相続人からの差押換え（基礎） 21 動産又は有価証券の差押え（基礎） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（基礎） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎） 24 国税徴収法第26条の計算（基礎） 25 債権の差押え（基礎） 26 不動産等の差押え（基礎） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎） 30 確認テスト（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計(計算) 択一式総合問題（初級編)① 2 財務会計(理論) 択一式総合問題（初級編)① 3 管理会計 択一式総合問題（初級編)① 4 企業法 択一式総合問題（初級編)① 5 監査論 択一式総合問題（初級編)① 6 財務会計(計算) 択一式総合問題（初級編)② 7 財務会計(理論) 択一式総合問題（初級編)② 8 管理会計 択一式総合問題（初級編)② 9 企業法 択一式総合問題（初級編)② 10 監査論 択一式総合問題（初級編)② 11 財務会計(計算) 択一式総合問題（初級編)③ 12 財務会計(理論) 択一式総合問題（初級編)③ 13 管理会計 択一式総合問題（初級編)③ 14 企業法 択一式総合問題（初級編)③ 15 監査論 択一式総合問題（初級編)③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論応用演習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮ 16 記述式応用問題（初級編）⑯ 17 記述式応用問題（初級編）⑰ 18 記述式応用問題（初級編）⑱ 19 記述式応用問題（初級編）⑲ 20 記述式応用問題（初級編）⑳ 21 記述式応用問題（初級編）㉑ 22 記述式応用問題（初級編）㉒ 23 記述式応用問題（初級編）㉓ 24 記述式応用問題（初級編）㉔ 25 記述式応用問題（初級編）㉕ 26 記述式応用問題（初級編）㉖ 27 記述式応用問題（初級編）㉗ 28 記述式応用問題（初級編）㉘ 29 記述式応用問題（初級編）㉙ 30 記述式応用問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問題演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論応用演習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問題演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学応用演習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択F
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題（初級編）① 2 記述式応用問題（初級編）② 3 記述式応用問題（初級編）③ 4 記述式応用問題（初級編）④ 5 記述式応用問題（初級編）⑤ 6 記述式応用問題（初級編）⑥ 7 記述式応用問題（初級編）⑦ 8 記述式応用問題（初級編）⑧ 9 記述式応用問題（初級編）⑨ 10 記述式応用問題（初級編）⑩ 11 記述式応用問題（初級編）⑪ 12 記述式応用問題（初級編）⑫ 13 記述式応用問題（初級編）⑬ 14 記述式応用問題（初級編）⑭ 15 記述式応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ｖ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択F
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リース取引総論 2 オペレーティング・リース 3 所有権移転ファイナンス・リース 4 所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権） 5 所有権移転外ファイナンス・リース 6 所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証） 7 維持管理費相当額 8 リース料の前払い 9 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①） 10 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②） 11 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③） 12 セール・アンド・リースバック取引 13 転リース取引 14 無形固定資産総論 15 のれん 16 研究開発費 17 市場販売目的のソフトウェア 18 自社利用目的のソフトウェア 19 投資その他の資産 20 固定資産の減損総論 21 減損損失の判定と測定 22 将来キャッシュ・フローの見積 23 共用資産の減損 24 のれんの減損 25 繰延資産 26 社債総論 27 買入償還（定額法） 28 買入償還（利息法） 29 巻末総合問題演習① 30 巻末総合問題演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 通常の販売目的で保有する棚卸資産 2 トレーディング目的で保有する棚卸資産 3 売価還元法と最終仕入原価法 4 固定資産の取得原価の決定 5 資本的支出と収益的支出 6 減価償却 7 個別償却と総合償却 8 減耗償却と取替法 9 圧縮記帳 10 株式交付費 11 社債発行費等 12 創立費 13 開業費 14 開発費 15 支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 標準原価計算総論 2 標準原価計算の目的 3 標準原価の種類 4 標準原価計算制度の手続 5 製品原価の計算 6 原価差異の計算 7 原価差異の原因分析 8 原価差異の把握方法 9 標準原価計算の記帳方法 10 原価差異の会計処理 11 仕損･減損が生じる場合（終点発生） 12 仕損･減損が生じる場合（始点発生） 13 仕損･減損が生じる場合（途中一定点発生） 14 管理会計の意義 15 財務会計と管理会計の相違 16 管理会計の体系 17 財務情報分析 18 財務情報分析の意義 19 財務情報分析の種類 20 収益性分析 21 投下資本利益率 22 投下資本利益率の分解 23 安全性分析 24 短期財務安全性分析 25 長期財務安全性分析 26 キャッシュフロー分析 27 授業内演習① 28 授業内演習② 29 授業内演習③ 30 授業内演習④
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算書類その他 2 資本金･準備金･剰余金 3 剰余金の配当 4 定款変更の意義 5 定款変更の手続 6 発行可能株式総数 7 事業譲渡等 8 組織再編　総説 9 組織変更 10 合併　総説 11 会社分割　総説 12 株式交換･株式移転　総説 13 持分法会社の組織再編 14 会社の清算 15 持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 継続企業の前提とは 2 継続企業の前提に関する経営者の対応 3 継続企業の前提に対する監査人の対応 4 中間監査総論 5 四半期レビュー制度 6 特別目的会社の財務諸表の監査 7 内部統制報告制度概要 8 会計監査人監査制度概要 9 金融商品取引法による企業内容開示制度 10 公認会計士法 11 公認会計士制度の創設･発足 12 倫理規則の趣旨及び精神 13 保証業務概論 14 保証業務の位置付け 15 公認会計士制度の創設･発足
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記計算特訓Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 確定給付企業年金制度（一連の会計処理） 2 確定給付企業年金制度（従業員拠出） 3 確定給付企業年金制度（数理計算上の差異） 4 確定給付企業年金制度（過去勤務費用） 5 確定給付企業年金制度（年金資産の返還） 6 確定給付企業年金制度（退職給付信託） 7 確定拠出企業年金制度 8 退職給付制度の終了 9 資産除去債務総論 10 見積りの変更（見積額が増加する場合） 11 見積りの変更（見積額が増加する場合） 12 資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法） 13 資産除去債務が複数の資産から構成される場合 14 巻末総合問題演習① 15 巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論計算特訓Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を目的とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	短時間で多くの問題を正確に解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 材料費会計 2 労務費会計 3 経費会計 4 製造間接費会計 5 部門別計算 6 個別原価計算 7 部門別個別原価計算 8 総合原価計算① 9 総合原価計算② 10 総合原価計算③ 11 総合原価計算④ 12 標準原価計算① 13 標準原価計算② 14 標準原価計算③ 15 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算応用問題（初級編）① 2 計算応用問題（初級編）② 3 計算応用問題（初級編）③ 4 計算応用問題（初級編）④ 5 計算応用問題（初級編）⑤ 6 計算応用問題（初級編）⑥ 7 計算応用問題（初級編）⑦ 8 計算応用問題（初級編）⑧ 9 計算応用問題（初級編）⑨ 10 計算応用問題（初級編）⑩ 11 計算応用問題（初級編）⑪ 12 計算応用問題（初級編）⑫ 13 計算応用問題（初級編）⑬ 14 計算応用問題（初級編）⑭ 15 計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算応用問題（初級編）① 2 計算応用問題（初級編）② 3 計算応用問題（初級編）③ 4 計算応用問題（初級編）④ 5 計算応用問題（初級編）⑤ 6 計算応用問題（初級編）⑥ 7 計算応用問題（初級編）⑦ 8 計算応用問題（初級編）⑧ 9 計算応用問題（初級編）⑨ 10 計算応用問題（初級編）⑩ 11 計算応用問題（初級編）⑪ 12 計算応用問題（初級編）⑫ 13 計算応用問題（初級編）⑬ 14 計算応用問題（初級編）⑭ 15 計算応用問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮ 16 記述式総合問題（初級編）⑯ 17 記述式総合問題（初級編）⑰ 18 記述式総合問題（初級編）⑱ 19 記述式総合問題（初級編）⑲ 20 記述式総合問題（初級編）⑳ 21 記述式総合問題（初級編）㉑ 22 記述式総合問題（初級編）㉒ 23 記述式総合問題（初級編）㉓ 24 記述式総合問題（初級編）㉔ 25 記述式総合問題（初級編）㉕ 26 記述式総合問題（初級編）㉖ 27 記述式総合問題（初級編）㉗ 28 記述式総合問題（初級編）㉘ 29 記述式総合問題（初級編）㉙ 30 記述式総合問題（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	規定に関する理解を深め、複雑な判例に対する解答も含む総合演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	規定に関する理解を深め、複雑な判例に対する解答も含む総合演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題（初級編）① 2 記述式総合問題（初級編）② 3 記述式総合問題（初級編）③ 4 記述式総合問題（初級編）④ 5 記述式総合問題（初級編）⑤ 6 記述式総合問題（初級編）⑥ 7 記述式総合問題（初級編）⑦ 8 記述式総合問題（初級編）⑧ 9 記述式総合問題（初級編）⑨ 10 記述式総合問題（初級編）⑩ 11 記述式総合問題（初級編）⑪ 12 記述式総合問題（初級編）⑫ 13 記述式総合問題（初級編）⑬ 14 記述式総合問題（初級編）⑭ 15 記述式総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	論文式対策総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 解答上の留意点 2 財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）① 3 財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）① 4 管理会計 記述式模擬試験（初級編）① 5 企業法 記述式模擬試験（初級編）① 6 監査論 記述式模擬試験（初級編）① 7 租税法 記述式模擬試験（初級編）① 8 経営学 記述式模擬試験（初級編）① 9 財務会計（計算） 記述式模擬試験（初級編）② 10 財務会計（理論） 記述式模擬試験（初級編）② 11 管理会計 記述式模擬試験（初級編）② 12 企業法 記述式模擬試験（初級編）② 13 監査論 記述式模擬試験（初級編）② 14 租税法 記述式模擬試験（初級編）② 15 経営学 記述式模擬試験（初級編）②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 純資産会計総論 2 株式の発行 3 剰余金の配当 4 計数の変動 5 剰余金の処分 6 自己株式 7 分配可能額の算定① 8 分配可能額の算定② 9 株主資本等変動計算書 10 新株予約権総論 11 新株予約権の会計処理（発行者側） 12 自己新株予約権 13 新株予約権の開示 14 新株予約権の会計処理（取得者側） 15 新株予約権付社債（総論） 16 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）① 17 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）② 18 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）① 19 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）② 20 ストック・オプション（総論） 21 権利不確定による失効 22 対象勤務期間 23 段階的に権利行使が可能となる場合 24 公正な評価単価の変動 25 ストック・オプション数の変動 26 費用の計上期間を変動させる条件変更 27 法人税 28 事業税 29 消費税 30 その他税金
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 製品保証引当金 2 売上割戻引当金 3 返品調整引当金 4 修繕引当金 5 資産除去債務の範囲 6 資産除去債務の会計処理 7 資産除去債務の開示 8 株主資本の分類 9 資本金 10 資本剰余金 11 利益剰余金 12 自己株式 13 資本金および準備金の額の減少 14 資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止 15 剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の発展を時代の変化とともに学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法及び知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 短期利益計画のための管理会計 2 短期利益計画の基礎 3 利益計画の意義 4 中期経営計画と短期利益計画 5 短期利益計画のプロセス 6 CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis） 7 CVP分析の意義 8 原価・営業量・利益の関係 9 CVP分析の仮定 10 損益分岐点売上高（販売量）の算定 11 希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定 12 希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高 13 損益分岐図表・限界利益図表 14 安全（余裕）率・損益分岐点比率 15 経営レバレッジ係数 16 多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析 17 多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成 18 CVP感度分析 19 営業外損益の取り扱い 20 全部原価計算の損益分岐分析 21 CVPC分析 22 原価分解の必要性 23 原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類 24 原価分解の方法 25 直接原価計算の基礎 26 直接原価計算の意義 27 直接原価計算の特徴 28 直接原価計算の有用性 29 全部原価計算との関係 30 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 **会社の概念** 2 **会社の種類** 3 **株式会社の概念** 4 **会社設立** 5 **発起人** 6 **定款の作成** 7 **発起設立と募集設立** 8 **変態設立事項に関する規制** 9 **設立登記** 10 **設立関与者の責任** 11 **設立の瑕疵** 12 **株式の意義** 13 **株式不可分の原則** 14 **株主の権利･義務の意義** 15 **株主の権利に関する規定** 16 株主平等原則の意義 17 株主平等原則の趣旨・効果 18 株主平等原則の例外 19 株式譲渡自由の原則 20 自己株式取得規制の概要 21 子会社による親会社株式の取得 22 株券の意義 23 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件 24 株主名簿の意義等 25 名義書換制度 26 株式の担保化 27 株式振替制度の意義 28 端数が生ずる場合 29 単元株制度の意義 30 株式等売渡請求の概要
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表監査総論 2 意見表明の対象である財務諸表 3 監査主体論、監査基準論 4 監査人 5 職業倫理（監査人に要求される条件） 6 専門能力及び知識 7 主要勘定と帳簿、証拠等の例 8 アサーション 9 監査技術　監査証拠 10 監査技術　閲覧 11 監査技術　帳簿突合 12 監査技術　証憑突合 13 監査技術　実査 14 監査技術　観察 15 監査技術　再計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題（初級編）① 2 計算総合問題（初級編）② 3 計算総合問題（初級編）③ 4 計算総合問題（初級編）④ 5 計算総合問題（初級編）⑤ 6 計算総合問題（初級編）⑥ 7 計算総合問題（初級編）⑦ 8 計算総合問題（初級編）⑧ 9 計算総合問題（初級編）⑨ 10 計算総合問題（初級編）⑩ 11 計算総合問題（初級編）⑪ 12 計算総合問題（初級編）⑫ 13 計算総合問題（初級編）⑬ 14 計算総合問題（初級編）⑭ 15 計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、計算総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題（初級編）① 2 計算総合問題（初級編）② 3 計算総合問題（初級編）③ 4 計算総合問題（初級編）④ 5 計算総合問題（初級編）⑤ 6 計算総合問題（初級編）⑥ 7 計算総合問題（初級編）⑦ 8 計算総合問題（初級編）⑧ 9 計算総合問題（初級編）⑨ 10 計算総合問題（初級編）⑩ 11 計算総合問題（初級編）⑪ 12 計算総合問題（初級編）⑫ 13 計算総合問題（初級編）⑬ 14 計算総合問題（初級編）⑭ 15 計算総合問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	BATIC
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	英語による基本的な会計用語及び会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な英文による問題文の読解力の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 簿記の基本概念 2 取引と仕訳 3 仕訳帳と元帳 4 試算表 5 決算修正仕訳(会計期間と決算修正仕訳) 6 決算修正仕訳(経過勘定項目) 7 決算修正仕訳(再振替仕訳) 8 決算修正仕訳(修正後残高試算表) 9 決算修正仕訳(減価償却) 10 棚卸資産と売上原価の会計処理(棚卸計算法) 11 棚卸資産と売上原価の会計処理(継続記録法) 12 精算表と締切仕訳(精算表) 13 精算表と締切仕訳(締切仕訳) 14 精算表と締切仕訳(締切後試算表) 15 精算表と締切仕訳(会計サイクル) 16 財務諸表(損益計算書) 17 財務諸表（貸借対照表） 18 財務諸表（利益剰余金） 19 財務諸表（配当） 20 基本的な前提とＧＡＡＰ（発生主義会計と公準） 21 基本的な前提とＧＡＡＰ（会計原則） 22 基本的な前提とＧＡＡＰ（一般に公正妥当と認められた会計原則） 23 基本的な前提とＧＡＡＰ（基準設定の当事者） 24 財務諸表分析(収益性) 25 財務諸表分析(資産活用) 26 財務諸表分析(流動性) 27 財務諸表分析(負債管理) 28 財務諸表分析(総合的な業績の財務指標) 29 内部統制 30 現金管理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	BATIC演習
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	基本的な問題の演習による基礎力の確認
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基本的な英文による問題を正確に解答できる
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 個別基礎問題(簿記の基礎概念) 2 個別基礎問題(取引と仕訳①) 3 個別基礎問題(取引と仕訳②) 4 個別基礎問題(仕訳帳と元帳) 5 個別基礎問題(試算表) 6 個別基礎問題(決算修正仕訳①) 7 個別基礎問題(決算修正仕訳②) 8 個別基礎問題(棚卸資産と売上原価の会計処理) 9 個別基礎問題(精算表と締切仕訳) 10 個別基礎問題(財務諸表①) 11 個別基礎問題(財務諸表②) 12 個別基礎問題(基本的な前提とGAAP) 13 個別基礎問題(財務諸表分析) 14 個別基礎問題（内部統制） 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総説ー株式会社の機関設計 2 公開会社の機関構造の特色 3 株主総会の権限 4 総会屋対策 5 株主総会決議の瑕疵 6 取締役の行為規制の必要性 7 善管注意義務と忠実義務 8 利益相反取引 9 取締役の報酬規制 10 違反行為差止請求権 11 取締役会の意義・設置 12 代表取締役の意義・設置 13 監査役の権限・義務 14 監査役会の権限 15 会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査技術　再実施 2 監査技術　質問 3 監査技術　年齢調べ 4 監査技術　棚卸資産に対する手続 5 監査技術　確認 6 監査技術　分析的手続 7 監査技術　経営者確認書 8 リスク･アプローチ 9 監査リスク 10 リスク評価手続の全体像 11 リスク･アプローチとの関係 12 監査とIT 13 ITの特徴① 14 ITの特徴② 15 監査に係る予備的な活動　契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題（中級編）① 5 個別基礎問題（中級編）② 6 個別基礎問題（中級編）③ 7 個別基礎問題（中級編）④ 8 個別基礎問題（中級編）⑤ 9 個別基礎問題（中級編）⑥ 10 個別基礎問題（中級編）⑦ 11 個別基礎問題（中級編）⑧ 12 個別基礎問題（中級編）⑨ 13 個別基礎問題（中級編）⑩ 14 個別基礎問題（中級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計簿記上級演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題（中級編）① 2 計算基礎問題（中級編）② 3 計算基礎問題（中級編）③ 4 計算基礎問題（中級編）④ 5 計算基礎問題（中級編）⑤ 6 計算基礎問題（中級編）⑥ 7 計算基礎問題（中級編）⑦ 8 計算基礎問題（中級編）⑧ 9 計算基礎問題（中級編）⑨ 10 計算基礎問題（中級編）⑩ 11 計算基礎問題（中級編）⑪ 12 計算基礎問題（中級編）⑫ 13 計算基礎問題（中級編）⑬ 14 計算基礎問題（中級編）⑭ 15 計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論上級演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題（中級編）① 2 計算基礎問題（中級編）② 3 計算基礎問題（中級編）③ 4 計算基礎問題（中級編）④ 5 計算基礎問題（中級編）⑤ 6 計算基礎問題（中級編）⑥ 7 計算基礎問題（中級編）⑦ 8 計算基礎問題（中級編）⑧ 9 計算基礎問題（中級編）⑨ 10 計算基礎問題（中級編）⑩ 11 計算基礎問題（中級編）⑪ 12 計算基礎問題（中級編）⑫ 13 計算基礎問題（中級編）⑬ 14 計算基礎問題（中級編）⑭ 15 計算基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策上級総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計(計算) 択一式応用問題（中級編)① 2 財務会計(理論) 択一式応用問題（中級編)① 3 管理会計 択一式応用問題（中級編)① 4 企業法 択一式応用問題（中級編)① 5 監査論 択一式応用問題（中級編)① 6 財務会計(計算) 択一式応用問題（中級編)② 7 財務会計(理論) 択一式応用問題（中級編)② 8 管理会計 択一式応用問題（中級編)② 9 企業法 択一式応用問題（中級編)② 10 監査論 択一式応用問題（中級編)② 11 財務会計(計算) 択一式応用問題（中級編)③ 12 財務会計(理論) 択一式応用問題（中級編)③ 13 管理会計 択一式応用問題（中級編)③ 14 企業法 択一式応用問題（中級編)③ 15 監査論 択一式応用問題（中級編)③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 法人税額の計算の基礎 3 使途秘匿金（追加課税される金額） 4 外国税額控除 5 貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合） 6 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 7 収用等の特別控除（特別控除の適用要件） 8 圧縮記帳 9 役員・使用人兼務役員の判定 10 役員給与（1項基準額） 11 使用人給与 12 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 13 みなし配当 14 グループ法人税制（概要） 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎Ｉ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 バランスト・スコアカード（BSC） 2 デリバティブ 3 先物取引 4 オプション取引 5 オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成） 6 金利オプション 7 スワップ取引 8 テイラーの科学的管理法 9 ファヨールの管理論 10 人間関係論と近代モチベーション論 11 バーナード理論 12 サイモン、マーチの理論 13 管理原則論 14 組織構造論（各論） 15 組織文化論
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得） 3 減価償却 4 課税標準・課税所得金額の計算 5 所得控除額の計算 6 納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収） 7 申告・納付 8 源泉徴収 9 有価証券に係る課税の特例 10 消費税法の概要 11 仕入れに係る消費税額 12 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 13 仕入れに係る対価の返還等 14 売上げに係る対価の返還等 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮ 16 記述式基礎問題（中級編）⑯ 17 記述式基礎問題（中級編）⑰ 18 記述式基礎問題（中級編）⑱ 19 記述式基礎問題（中級編）⑲ 20 記述式基礎問題（中級編）⑳ 21 記述式基礎問題（中級編）㉑ 22 記述式基礎問題（中級編）㉒ 23 記述式基礎問題（中級編）㉓ 24 記述式基礎問題（中級編）㉔ 25 記述式基礎問題（中級編）㉕ 26 記述式基礎問題（中級編）㉖ 27 記述式基礎問題（中級編）㉗ 28 記述式基礎問題（中級編）㉘ 29 記述式基礎問題（中級編）㉙ 30 記述式基礎問題（中級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題（中級編）① 2 記述式基礎問題（中級編）② 3 記述式基礎問題（中級編）③ 4 記述式基礎問題（中級編）④ 5 記述式基礎問題（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結財務諸表総論 2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成 3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成 4 段階取得（その他投資先から子会社） 5 段階取得（関連会社から子会社） 6 子会社株式の追加取得 7 子会社株式の一部売却 8 連結除外（関連会社になった場合） 9 連結除外（関連会社にも該当しなくなった場合） 10 子会社の増資（株主割当有償増資） 11 子会社の増資（第三者割当有償増資） 12 子会社の新株予約権の取扱い 13 子会社が保有する自己株式 14 評価差額の実現（非償却性資産） 15 評価差額の実現（償却性資産） 16 成果連結総論 17 未実現利益の消去（棚卸資産） 18 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整 19 未達取引（未達商品） 20 未達取引（決済未達） 21 手形取引 22 未実現利益の消去（非償却性資産） 23 未実現利益の消去（償却性資産） 24 社債取引（発行時取得） 25 社債取引（発行後取得） 26 持分法総論 27 持分法（追加取得） 28 持分法（一部売却） 29 持分法（持分法除外） 30 持分法（未実現利益の消去） 31 連結税効果（未実現利益：棚卸資産） 32 連結税効果（未実現利益：非償却性資産） 33 連結税効果（未実現利益：償却性資産） 34 連結税効果（未実現利益：持分法適用会社） 35 連結税効果（貸倒引当金） 36 連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産） 37 連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産） 38 連結税効果（関連会社の評価差額） 39 連結税効果（財務諸表表示） 40 連結税効果（税率の変更） 41 包括利益総論 42 0 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株主資本等変動計算書の目的 2 株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲 3 株主資本等変動計算書の表示方法 4 株主資本等変動計算書の注記事項 5 キャッシュ･フロー計算書の作成目的 6 利益とキャッシュ･フロー 7 資金概念 8 キャッシュ･フロー計算書の区分 9 直接法と間接法 10 キャッシュ･フロー計算書の注記事項 11 会計方針 12 後発事象 13 偶発事象 14 時価情報 15 継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	管理会計の発展を時代の変化とともに学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	授業計画に従い、的確な解法及び知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 直接実際原価計算 2 直接実際原価計算の意義 3 直接実際原価計算による損益計算書 4 固定費調整 5 直接標準原価計算 6 直接標準原価計算の意義 7 直接標準原価計算による損益計算書 8 直接標準原価計算における固定費調整 9 直接原価計算に関する諸論点 10 生産・販売量と営業利益の関係の整理 11 セグメント別損益計算書 12 固定費（キャパシテイ・コスト）の管理 13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由 14 予算管理の基礎 15 予算と予算管理の意義 16 予算管理のプロセス 17 予算管理と責任会計 18 予算の種類 19 予算編成の方法 20 予算編成の手順 21 予算統制 22 予算実績差異分析の意義と手続 23 予算実績比較損益計算書の作成 24 予算実績差異分析の詳細 25 予算報告書 26 講義内演習① 27 講義内演習② 28 講義内演習③ 29 講義内演習④ 30 講義内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 資金調達総説 2 募集株式の発行等の意義 3 募集事項の決定事項 4 募集事項の決定機関 5 募集株式の申込み 6 募集株式の割当て 7 総数引受の場合ー申込み･割当ての例外 8 募集株式の引受け 9 申込み（引受け）の瑕疵ー引受けの無効又は取消しの制限 10 出資の履行等 11 失権株式 12 募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記 13 払込金額が不公正な場合･出資された財産等の価額が不足する場合の責任 14 違法発行に対する措置 15 新株予約権の意義 16 募集新株予約権の発行 17 新株予約権の譲渡 18 新株予約権の行使 19 新株予約権無償割当て（277条～） 20 株式と社債の共通点 21 株式と社債の相違点 22 株式と社債の接近化現象 23 募集株式の発行手続 24 社債原簿 25 社債管理者 26 社債権者集会 27 社債の譲渡（社債券を発行しない場合） 28 社債の譲渡（社債券を発行する場合） 29 利息の支払 30 社債の償還
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｆ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査に係る予備的な活動　意義 2 監査に係る予備的な活動　何を検討するのか 3 監査に係る予備的な活動　検討の結果 4 監査計画の定義 5 監査計画の分類 6 監査証拠の入手方法 7 監査サンプリング 8 重要性の定義 9 監査上の重要性が用いられる場面 10 重要な虚偽表示か否かの判断 11 監査上の重要性の例 12 重要性の基準値の決定 13 特別な検討を必要とするリスクの定義等 14 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価 15 関連当事者とは
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話入門
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 出会った時のあいさつ 2 初対面の人と話す 3 人を紹介する 4 別れる時のあいさつ 5 お礼を言う 6 おわびをする 7 依頼する 8 許可を求める 9 賛成・同意する 10 反対・否定する 11 聞き返す 12 あいづちをうつ 13 発話① 14 発話② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③ 31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融市場政策論
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 金融の役割① 2 金融の役割② 3 金融の役割③ 4 各種金融市場① 5 各種金融市場② 6 各種金融市場③ 7 中央銀行の役割① 8 中央銀行の役割② 9 中央銀行の役割③ 10 中央銀行の役割④ 11 中央銀行の役割⑤ 12 中央銀行の役割⑥ 13 世界の中央銀行 14 総まとめ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	国際社会に関する基礎用語
	2～3	国際社会に関する事例学習
	4	経済に関する基礎用語
	5	経済に関する事例学習
	6	労働環境に関する基礎用語
	7	労働環境に関する事例学習
	8	経営に関する基礎用語
	9～10	経営に関する事例学習
	11	IT社会に関する基礎用語
	12～13	IT社会に関する事例学習
	14	AIに関する基礎用語
	15	AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6～14 グループ討議 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経理職に適したスーツの着こなし 2 経理職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 経理職で良く聞かれる質疑応答① 5 経理職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 経理職職種研究① 7 経理職職種研究② 8 経理職職種研究③ 9 経理職職種研究④ 10 経理職職種研究⑤ 11 経理職への志望理由① 12 経理職への志望理由② 13 経理職への志望理由③ 14 経理職への志望理由④ 15 経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類･笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4･5	演習
	6･7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10･11	演習
	12･13	総合演習
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話応対のマナー
	2	電話の受け方の基本
	3	電話の受け方～道案内～
	4～6	演習
	7	電話のかけ方
	8～13	演習
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別の電話応対
	2	状況別の応対方法
	3～5	演習
	6～8	電話応対練習①
	9	伝言の受け方
	10～12	演習
	13	電話応対練習②
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の種類・笑顔、お辞儀 2 正しい敬語の使い方 3 状況に応じた言葉遣い 4・5 演習 6・7 効果測定 8 応対の基本 9 名刺交換 10・11 演習 12・13 総合演習 14・15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接客販売の心得 2 お客様の心理理解 3 接客用語 4 状況別の店内接客 5 状況別の店内接客 6 演習 7 演習 8 電話応対での問い合わせ 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインＶ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習 6 演習 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅥ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商品説明知識
	2	好感を持たれる商品説明
	3	演習
	4	演習
	5	クレームとは
	6	電話でのクレーム応対方法
	7	演習
	8	演習
	9	店内でのクレーム応対方法
	10	演習
	11	演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1～3 学校と職場の違い 4～6 職場のマナー 7～9 仕事の進め方 10～12 報告、連絡、相談 13～15 挨拶 16～18 笑顔、お辞儀 19～21 敬語 22～24 応対の基本 25～27 電話応対 28～30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6～7 接遇の流れ 8～13 演習 14～15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成（2）① 8 表、画像、図形を使った文書の作成（2）② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（2）③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 数式・関数を活用した集計表の作成① 5 数式・関数を活用した集計表の作成② 6 数式・関数を活用した集計表の作成③ 7 ワークシート間の集計① 8 ワークシート間の集計② 9 ワークシート間の集計③ 10 グラフの基本① 11 グラフの基本② 12 グラフの基本③ 13 目的に応じたグラフの作成と編集① 14 目的に応じたグラフの作成と編集② 15 目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ｖ	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	税務会計科
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	１８０時間（６単位）	
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）	
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Word：MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す	
教科書	問題集	
特記		

授業計画

1	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの説明	46	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの振返り
2	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの練習	47	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
3	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践	48	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの振返り
4	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの振返り	49	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践
5	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの練習	50	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの振返り
6	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	51	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
7	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの振返り	52	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの振返り
8	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの説明	53	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践
9	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの練習	54	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの振返り
10	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践	55	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
11	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの振返り	56	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの振返り
12	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの練習	57	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
13	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	58	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践
14	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの振返り	59	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
15	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの説明	60	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習・本番モードの振返り
16	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの練習	61	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践
17	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践	62	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
18	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの振返り	63	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習・本番モードの振返り
19	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの練習	64	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践
20	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト	65	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
21	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの振返り	66	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習・本番モードの振返り
22	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの説明	67	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践
23	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの練習	68	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
24	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践	69	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習・本番モードの振返り
25	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの振返り	70	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践
26	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの練習	71	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
27	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト	72	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習・本番モードの振返り
28	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの振返り	73	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
29	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの説明	74	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
30	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの練習	75	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
31	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践	76	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
32	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの振返り	77	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
33	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの練習	78	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
34	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト	79	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
35	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの振返り	80	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
36	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施	81	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
37	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践	82	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
38	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの振返り	83	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
39	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	84	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
40	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの振返り	85	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
41	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践	86	演習・復習日
42	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの振返り	87	演習・復習日
43	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	88	演習・復習日
44	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの振返り	89	演習・復習日
45	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践	90	演習・復習日

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅵ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excel：MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの説明 2 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの練習 3 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 4 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの振返り 5 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの練習 6 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 7 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの振返り 8 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの説明 9 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの練習 10 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 11 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの振返り 12 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの練習 13 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 14 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの振返り 15 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの説明 16 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの練習 17 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 18 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの振返り 19 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの練習 20 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 21 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの振返り 22 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの説明 23 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの練習 24 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 25 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの振返り 26 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの練習 27 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 28 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの振返り 29 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの説明 30 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの練習 31 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 32 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの振返り 33 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの練習 34 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 35 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの振返り 36 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 37 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 38 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの振返り 39 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 40 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの振返り 41 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 42 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの振返り 43 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 44 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの振返り 45 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 46 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの振返り 47 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 48 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの振返り 49 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 50 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの振返り 51 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 52 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの振返り 53 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 54 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの振返り 55 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 56 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの振返り 57 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 58 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 59 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 60 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習・本番モードの振返り 61 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 62 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 63 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習・本番モードの振返り 64 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 65 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 66 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習・本番モードの振返り 67 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 68 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 69 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習・本番モードの振返り 70 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 71 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 72 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習・本番モードの振返り 73 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 74 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 75 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 76 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 77 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 78 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 79 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 80 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 81 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 82 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 83 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 84 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 85 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 86 演習・復習日 87 演習・復習日 88 演習・復習日 89 演習・復習日 90 演習・復習日
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅶ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	PowerPoint：MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016ｴｷｽﾊﾟｰﾄの合格を目指す
教科書	問題集
特記	

授業計画

1	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの説明	31	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践
2	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの練習	32	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振返り
3	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践	33	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの練習
4	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振返り	34	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
5	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの練習	35	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振返り
6	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	36	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施
7	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振返り	37	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践
8	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの説明	38	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振返り
9	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの練習	39	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
10	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践	40	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振返り
11	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振返り	41	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践
12	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの練習	42	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振返り
13	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	43	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
14	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振返り	44	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振返り
15	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの説明	45	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践
16	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの練習	46	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振返り
17	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践	47	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
18	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振返り	48	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振返り
19	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの練習	49	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践
20	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト	50	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振返り
21	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振返り	51	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
22	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの説明	52	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振返り
23	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの練習	53	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践
24	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践	54	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振返り
25	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振返り	55	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
26	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの練習	56	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振返り
27	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト	57	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施
28	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振返り	58	演習・復習日
29	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの説明	59	演習・復習日
30	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの練習	60	演習・復習日

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 事務職の1日の流れ 2～4 電話応対応用 5～7 接遇の流れ 8～13 演習（ロールプレイング） 14～15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理･総務の年間カリキュラム 2 小切手･手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収･納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収･納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収･納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（基礎）① 16 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収･納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ･フロー計算書① 10 キャッシュ･フロー計算書② 11 キャッシュ･フロー計算書③ 12 キャッシュ･フロー計算書④ 13 キャッシュ･フロー計算書⑤ 14 キャッシュ･フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤ 31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 中国語発音の基礎(1)　四つの声調・六つの基本母音・複合母音 2 中国語発音の基礎(2)　21の子音・鼻音・声調変化 3 中国語発音の基礎(3)　声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい 4 簡単な日常挨拶(1)　人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について 5 簡単な日常挨拶(2)　基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について 6 数字を覚えよう　年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」 7 数字の活用　こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」 8 存在・所有の表現　動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞 9 場所の表現　場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」 10 買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する　人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」 11 乗り換えと両替　「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」 12 電話をする→「是～的」の構文・結果補語　約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」 13 確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」 14 お客さんの出迎え＆歓迎会　連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語　「得」 15 別れを告げる＆総復習　仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	１．読み書きができる。 ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識　基本母音 2 基本子音①説明＆子音「Ｋ」　復習と会話 3 小テスト　基本子音②－「N」＆「T」＆「R」　基本子音③－「M」＆「P」＆「S」 4 復習と会話　基本子音④－「J」＆「H」＋まとめ 5 小テスト　激音①－「Ｃｈ」＆「Ｋｈ」　復習と会話 6 激音②－「Ｔｈ」＆「Ｐｈ」＋まとめ　濃音①－「KK」＆「TT」＆「PP」 7 小テスト　復習と会話　濃音②－「SS」＆「JJ」＋まとめ 8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕　復習と会話 9 小テスト　パッチム②〔P20K、P21B〕　パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話　パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト　合成母音①〔P25＆26の説明〕　復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕　<1課>私は日本人です。 13 小テスト　宿題チェック　<1課>私は日本人です。 14 まとめ　<1課>宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1～2 顧客満足 3～4 マーケティングの必要性 5～6 情報収集と分析 7～8 流通チャネル 9～10 プロモーション 11～12 財務知識 13～15 事例研究
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1～2 店舗データの理解 3～4 マーケティングの流れ 5～6 売上構成分析 7～8 来店客分析 9～10 商品分析 11～12 費用分析 13～14 課題抽出 15～16 アンケート調査分析 17～20 企画作成 21～22 様々なマーケティング 23～30 プレ卒業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	接客に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④ 31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	税務会計科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画 ～ 情報収集 シナリオ作成 13 コンテンツ作成 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究	
実務家教員		
学部・学科	税務会計科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	１８０時間（６単位）	
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	業界分析
	～	情報収集
		店舗分析
		店舗見学
		課題抽出
		仮説
		調査・検証
	69	企画案作成
	70～74	中間発表
	75～79	再検証
	80～84	最終発表
	85～90	代表によるコンテストの実施
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		